



Ernst & Young  
 Entrepreneur Of The Year®  
 2012 Japan

# ENTREPRENEUR FACT BOOK

Dynamic

leaders

Founded and produced by

新日本経済新聞社  
 ERNST & YOUNG  
 Quality Beyond Measure

# “Winning the World”

## 日本のアントレプレナーを世界へ

21世紀の日本経済の旗手として、新しい価値の創造と構造変革をもたらす

アントレプレナー(起業家)への社会的期待が高まっています。

しかし、創業間もないベンチャー企業をいかに評価し、付き合うべきかが十分に理解されていないため、その健全な育成が阻まれているのが現状です。

私たちは、自らリスクを背負いながらも、新たな事業領域に挑戦する

アントレプレナーを、社会に大きく貢献する人物として称え

新しいビジネスリーダーの輩出に寄与できますよう

アントレプレナー・オブ・ザ・イヤープログラムを

推進して参ります。

アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーは

日本のアントレプレナーのため、国際的なステージの幕を開きます。









CONTENTS

Entrepreneur Of The Year 2012 Japan

**ENTREPRENEUR FACT BOOK**

Entrepreneur Of The Year Japan — EOY ジャパンの活動に期待して	5
● Entrepreneur Of The Year プログラムの概要	6-11
Entrepreneur Of The Year History	6-7
EOY 2012 Japan プログラムの紹介	8
EOY 2012 Japan スケジュール／運営体制	9
Entrepreneur Of The Year 歴代ファイナリスト	10-11
● World Entrepreneur Of The Year 2012 — 第12回世界大会	12-13
● Entrepreneur Of The Year Japan 過年度参加起業家からのメッセージ	14-15
● EOY 2012 Japan 候補者プロフィール	17-46
インデックス	17-19
プロフィール	20-46





今年もEOYジャパン審査の季節を迎えた。全国から予想を上回る応募あり、期待に違わぬ立派な活動内容に接することができたのは誠に嬉しく、審査の方々を代表して謝意を表したい。

経済の低成長・少子高齢化・高福祉負担など先進諸国共通の課題に加え、過大な財政赤字と長引くデフレなど日本固有の困難に直面している現在、新しい分野に力強く起業す

る人達の存在こそ、明日の日本を牽引する原動力だと思う。

国の将来像については各論あり、議論は続いての民主主義ではある。が、経済力はもとより政治力・社会力すべての局面で、国際競争の場で頑張り続ける必要があり、競争力強化は喫緊かつ国を挙げての問題という点では、各分野一致するところである。遠くは明治維新、近くは先の戦争の後、外国に学ぶこと謙虚に自力更生においては忍耐強く勤勉に逞しくあった先人のように、そのDNAを引き継ぐ我々現代人に、この国難を克服する力は必ずあると考えたい。

EOY 2012 Japan 審査委員長

**椎名 武雄**

日本アイ・ピー・エム株式会社 名誉相談役



## Entrepreneur Of The Year—プログラムの概要

### 世界に広がる起業家のための表彰制度 アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー

「アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー」は、起業家の功績を称える世界的な表彰制度です。

世界約50カ国、140以上の都市において開催されている世界で最も名誉あるビジネス賞であり

各国で魅力的な企業の創業者や経営者を表彰しています。

日本では2001年よりプログラムを開始し、新たな事業領域に挑戦する起業家を称え、ロールモデルとして紹介して参りました。

本年も、後に続くアントレプレナーの輩出を支援し、グローバルステージへと送り出すため活動を続けて参ります。



## Entrepreneur Of The Year History

### ■ Entrepreneur Of The Year のはじまり

アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーは1986年、アーンスト・アンド・ヤングにより創設された起業家表彰制度です。

当初、米国の一都市であるミルウォーキーで開催されていたアントレプレナー・オブ・ザ・イヤーは、やがて全米へと開催規模を拡大し今では米ビジネス界の顔とも言える起業家の人々を表彰・応援してきました。

### ● 米国での受賞例

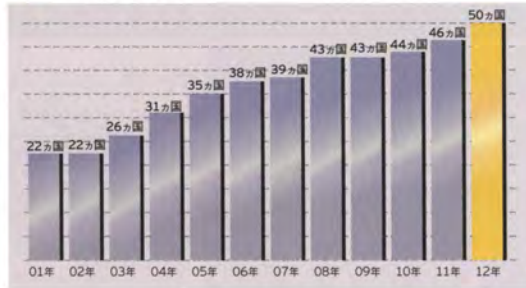
1987年	スコット・マクニーリ氏	サン・マイクロシステムズ
1989年	マイケル・デル氏	デル・コンピュータ
1992年	ハワード・シュルツ氏	スターバックス・コーヒー
1997年	ジェフ・ベゾス氏	アマゾン・ドットコム
2003年	サーゲイ・ブリン氏、ラリー・ペイジ氏	グーグル

## ●世界各国へ拡大

全米に定着したアントレプレナー・オブ・ザ・イヤーは、更に数年のうちに世界の国々へと開催地域を広げました。創設から26年目の今年は、世界約50カ国で開催される予定です。

世界各地で多くのアントレプレナーが表彰され、アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーによるビジネスリーダーの輪が広がっています。

## ●開催国数の推移



## World Entrepreneur Of The Year

World Entrepreneur Of The Yearは、アントレプレナーの輩出をグローバルに支援するためのプログラムです。2001年より、毎年モナコ公国モンテカルロにて開催されているWorld Entrepreneur Of The Yearには、世界各地でEntrepreneur Of The Year各国代表に選出された受賞者が参加し、その努力と功績が称えられます。さらに、参加起業家の中から“The best of best”として、その年の世界を代表する起業家“World Entrepreneur Of The Year”が選出・表彰されます。



## ●World Entrepreneur Of The Year 受賞者

2001年	パオロ・デラ・ポルタ氏 サエズ・ゲッターズ	(イタリア代表)
2002年	ステファン・ヴィールズマイヤー氏 ブレイン・ラボ	(ドイツ代表)
2003年	ナラヤナ・ムルティ氏 インフォシス・テクノロジーズ	(インド代表)
2004年	トニー・タン・カクティオン氏 ジョリビー・フード・コーポレーション	(フィリピン代表)
2005年	ウェイン・ハイゼンガ氏 ハイゼンガ・ホールディングス	(アメリカ代表)
2006年	ビル・リンチ氏 インベリアル・ホールディングス	(南アフリカ代表)
2007年	ギー・ラリベータ氏 シルク・ドウ・ソレイユ	(カナダ代表)
2008年	ジャン・ポール・クローゼル氏 アクテリオン ファーマシューティカルズ	(スイス代表)
2009年	ツァオ・ダーワン氏 フーヤオガラス	(中国代表)
2010年	マイケル・スペンサー氏 ICAP	(英国代表)
2011年	オリビア・ラム氏 ハイフラックス	(シンガポール代表)
2012年	ジェームス・ムワンギ氏 エクイティ銀行	(ケニア代表)

## 世界の開催国

アイルランド、アメリカ、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カタール、カナダ、韓国、ギリシャ、ケニア、コロンビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、台湾、チェコ、中国、チリ、デンマーク、ドイツ、ナイジェリア、日本、ニュージーランド、ノルウェー、ハンガリー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、マレーシア、南アフリカ、メキシコ、ヨルダン、リヒテンシュタイン、ロシア



## EOY 2012 Japan——プログラムの概要

### EOY 2012 Japan プログラムの紹介

アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーは、日本では2001年よりプログラムを開始し、全国から選ばれた素晴らしい起業家を多数紹介してきました。

12年目にあたる本年も、優れた起業家を表彰することにより、日本の未来を切り拓く起業家の活動を奨励するという目的のもと、プログラムを推進して参ります。

日本のアントレプレナーを世界に送り出す唯一の国際的な起業家表彰制度です。

#### ● 審査基準

審査は書類選考を経て、候補者インタビューと各業界に精通した専門委員によるレビューを経て、審査委員会で最終決定がなされます。審査の際に重視される点は、次の項目です。

- 創造性・革新性 (Innovation / Originality / Entrepreneurship)  
事業に対するビジョン、社会への影響力など様々な側面におけるアントレプレナーとして創造性・革新性を評価。  
起業家としてのストーリー、チャレンジ精神、後進へのロールモデルとしての影響力やメッセージなどを考慮します。
- 優位性・成長性 (Competitiveness / Performance Growth)  
ビジネスモデルの競争優位性、技術・マーケティング力、事業の成長性等の側面から事業内容を評価します。
- 国際性 (Global Impact)  
World EOY (世界大会) にふさわしい、事業の国際性やグローバルな影響力を考慮します。



#### ● 運営体制

- 審査委員・アドバイザー  
事業経験豊富で起業に理解の深い審査委員と、各界から各事業分野に精通したアドバイザーにファイナリスト、大賞受賞者および日本代表の審査と選考を支援いただいています。
- 推薦部会  
趣旨に賛同する方々に、候補者の発掘と推薦、書類選考までを支援いただいています。
- 事務局  
新日本有限責任監査法人 アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー運営事務局

## EOY 2012 Japan スケジュール

4月 エントリー受付開始

6月 ◆ World Entrepreneur Of The Year 開催

EOY 2011 Japan

日本代表 山村 章氏 出席



8月 ◆ 東北地区大会

9月 ◆ 東海・北陸大会

10月 ◆ 関西壮行会

10月・11月 ◆ 面談審査・懇親会

11月 ◆ EOY 2012 Japan アワード レセプション

ファイナリスト・大賞受賞者・日本代表の選考ならびに表彰

2013年6月 ◆ World Entrepreneur Of The Year

第13回世界大会開催

EOY 2012 Japan 日本代表の参加

### Entrepreneur Of The Year 第12回世界大会開催

6月7日～10日 於:モナコ公国モンテカルロ



トロフィーを手にする、EOY 2011 Japan  
山村章氏（株式会社フェローテック）

## 運営体制

### ■ 審査委員・アドバイザー

敬称略 50音順

● 審査委員長： 椎名 武雄

● 審査委員： 安達 俊久 飯塚 哲哉 大橋 正昭 岡田 江平

金井 一頼 田中 仁 行方 國雄

● アドバイザー： 荒井 寿光 松田 修一

### ■ 推薦部会

#### ● 東京推薦委員

石井 龍介 上田 敬 内田 研一 大塚 悦時 勝尾 修 菊池 徳行

木原 輝明 清田 寛道 中井 規子 本田 哲也 渡瀬 ひろみ

#### ● 関西推薦部会

安藤 政秀 大谷 康弘 岡野 豊 杉浦 佳浩 杉本 浩 鈴木 哲

角谷 禎和 原 和裕 細川 正直 松本 敬介

#### ● 東北実行委員会

有倉 大輔 尾形 克彦 川村 志厚 高橋 四朗 富樫 健一 野口 謙一

野口 正一

#### ● 東海・北陸推薦部会

阿部 剛久 池田 正嗣 石島 広隆 井藤 健一 海野 俊也 及川 清

大貝 隆之 大澤 誠 大橋 正昭 小野 浩美 加納 昭巨 木下 隆利

島田 寛士 鈴木 哲 高松 明 高村 徳康 田口 修 田中 敏之

塚本 純 中田 正雄 林 正浩 藤井 敏夫 本田 安識 山村 敏彦

渡邊 明彦



## EOY 2012 Japan——プログラムの概要

### Entrepreneur Of The Year Japan 歴代ファイナリスト

●印は各年日本代表 ○印は大賞受賞者 氏名 50 音順

※会社名は受賞時のものを掲載

- 2011年**
- 出雲 充氏  
株式会社ユーグレナ
  - 楠本修二郎氏  
カフェ・カンパニー株式会社
  - 長久 厚氏  
ラクオリア創薬株式会社
  - 田中 英成氏  
株式会社メニコン
  - 長谷川敦弥氏  
株式会社ウイングル
  - 村上 太一氏  
株式会社リップセンス
  - 安井 豊明氏  
株式会社ヒト・コミュニケーションズ
  - 山村 章氏  
株式会社フェローテック
  - 特別賞  
田端 陽子氏  
株式会社太新



- 2010年**
- 大和田 哲男氏  
株式会社アビー
  - 菊川 暁氏  
株式会社ガーラ
  - 木村 佳司氏  
株式会社メディネット
  - 山海 嘉之氏  
CYBERDYNE 株式会社

- 田中 仁氏  
株式会社ジェアイエヌ
- 馬場 功淳氏  
株式会社コブラ
- 特別賞  
山下 和貴氏  
株式会社ヴァーロール

- 2009年**
- 池田 裕二氏  
イマジニアリング株式会社
  - 黒田 俊明氏  
株式会社ナガオカ
  - 庄司 秀樹氏  
東洋システム株式会社
  - 似鳥 昭雄氏  
株式会社ニトリ
  - 平賀 督基氏  
株式会社モルフォ

- 松谷 貴司氏  
マニー株式会社
- 三村 等氏  
株式会社ナガオカ
- 矢崎 雄一郎氏  
テラ株式会社
- 審査委員特別賞  
佐藤 仁一氏  
株式会社池月道の駅(あ・ら・伊達な道の駅)
- 小松 真実氏  
ミュージックセキュリティーズ株式会社

- 2008年**
- 石黒不二代氏  
ネットイヤークラブ株式会社
  - 石橋 博良氏  
株式会社ウェザーニューズ
  - 中山 廣男氏  
テフコ青森株式会社
  - 深田 智之氏  
株式会社くつろぎ宿

- 福田 章一氏  
株式会社エウエルシィ
- 宮澤 栄一氏  
株式会社デジタルハーツ
- 松下 喜彦氏 西村 登氏  
オリエンタルシステム株式会社

- 2007年**
- 兼元 謙任氏  
株式会社オウケイウェイヴ
  - 木南 陽介氏  
株式会社リサイクルワン
  - 菅原 雅史氏  
インスペック株式会社
  - 瀬戸 欣哉氏  
株式会社 MonotaRO

- 隣 良郎氏  
株式会社エヌ・ピー・シー
- 村井 哲之氏  
株式会社コスト削減総合研究所
- 山田 慶太氏  
アサカ理研工業株式会社
- 審査委員特別賞  
浅野 邦子氏  
株式会社 箔一



**2006年**  
 小方 功氏  
 株式会社ラクーン  
 笠原 健治氏  
 株式会社ミクシイ  
 鎌田 雅彦氏  
 SBS ホールディングス株式会社  
 坂巻 千弘氏  
 株式会社パリオセキュア・ネットワークス  
 佐藤 英児氏  
 株式会社プロデュース  
 ● 鈴木 清幸氏  
 株式会社アドバンスト・メディア  
 高島 宏平氏  
 オイシックス株式会社

**2005年**  
 梶本 修身氏  
 株式会社総合医科学研究所  
 小森 伸昭氏  
 アニコムインターナショナル株式会社  
 ● 杉本 哲哉氏  
 株式会社マクロミル  
 高橋 巖氏  
 株式会社ホープ  
 谷本 肇氏  
 リアルコム株式会社

**2004年**  
 江尻 義久氏  
 株式会社ハニーズ  
 榊原 暢宏氏  
 ジャパンベストレスキューシステム株式会社  
 ● 坂本 孝氏  
 ブックオフコーポレーション株式会社  
 猿渡 肇氏  
 海鱗丸ビール株式会社  
 土井 宏文氏  
 株式会社ジャパン・デジタル・コンテンツ

**2003年**  
 安達 一彦氏  
 株式会社インテリジェントウェイブ  
 ● 石川 光久氏  
 株式会社プロダクション・アイジー  
 小笹 公也氏  
 株式会社オンテックス  
 國光 浩三氏  
 株式会社EM システムズ  
 佐藤 元則氏  
 株式会社アイエスアイ

**2002年**  
 ● 新藤 次郎氏  
 株式会社セラータムテクノロジー  
 進藤 昌弘氏  
 株式会社メガフュージョン  
 鳥谷 浩志氏  
 ラティス・テクノロジー株式会社  
 中島 武氏  
 際コーポレーション株式会社

**2001年**  
 ● 飯塚 哲哉氏  
 ザインエレクトロニクス株式会社  
 石橋 博良氏  
 株式会社ウェザーニュース  
 井出 剛氏  
 株式会社トランスジェニック  
 大谷 真樹氏  
 株式会社インフォプラント

松田 正男氏  
 株式会社拓人  
 松藤 展和氏  
 アップコン株式会社  
 三本 守氏  
 株式会社タケエイ  
 森 正文氏  
 株式会社一休  
 吉原 直樹氏  
 株式会社アルテサロンホールディングス  
 渡辺 忠一氏  
 フロンティア・ラボ株式会社

長谷川 博之氏  
 株式会社ヒューモニー  
 平山 啓行氏  
 株式会社ゼクス  
 山崎 伸治氏  
 株式会社シニアコミュニケーション  
 山田 太郎氏  
 ネクステック株式会社

野坂 英吾氏  
 株式会社トレジャーファクトリー  
 鉢嶺 登氏  
 株式会社オプト  
 春山 満氏  
 株式会社ハンディネットワークインターナショナル  
 宮田 尚彦氏  
 朝日インテック株式会社  
 山口 昭氏  
 株式会社木の城たいせつ

関田 仁志氏  
 サイバーレーザー株式会社  
 孫 大雄氏  
 株式会社オプトラン  
 本村 昌次氏  
 株式会社スタジオアリス  
 森下 篤史氏  
 株式会社テンボスバスターズ

中富 一郎氏  
 ナノキャリア株式会社  
 堀 主知 ロバート氏  
 株式会社サイバード  
 山本 雪雄氏  
 エム・アンド・エス・ファインテック株式会社  
 横石 知二氏  
 株式会社いろどり

平澤 創氏  
 株式会社フェイス  
 山田真次郎氏  
 株式会社インクス  
 吉田 直樹氏  
 株式会社ウェッジ

# World Entrepreneur Of The Year 2012



Entrepreneur Of The Year 第12回世界大会にて世界各国代表の起業家と。



グローバルなアントレプレナーコミュニティの一員として様々な経験を共有した山村氏

世界約50カ国で展開する Entrepreneur Of The Year プログラムの集大成ともいえる World Entrepreneur Of The Year は、2001年より各国代表を招いて開催されています。本年モナコ公国モンテカルロで開催された世界大会には、EOY 2011 Japan 日本代表の山村 章氏が招待され、世界のアントレプレナーと交流を深めていただきました。



# The World's Best Entrepreneurs

数日間に渡る World Entrepreneur Of The Year 開催期間中は、世界大会代表の表彰式が行われるほか、各国代表者の交流会などが行われ、起業家同士のグローバルな交流が図られます。

## プログラム

### 6月7日(木)

- 7:40 ~ 12:00 各国代表アントレプレナーの審査
- 12:00 ~ 14:00 各国代表アントレプレナー交流ランチ
- 13:00 ~ 18:00 各国代表アントレプレナーの審査
- 19:00 ~ 20:30 歓迎レセプション



### 6月8日(金)

- 7:40 ~ 12:00 各国代表アントレプレナーの審査
- 12:00 ~ 13:30 交流レセプション・ランチ
- 13:40 ~ 18:00 各国代表アントレプレナーの審査
- 18:30 ~ 19:30 審査委員・各国代表アントレプレナー限定レセプション



### 6月9日(土)

- 9:00 ~ 12:00 審査委員会
  - 18:00 ~ 22:30 正装カクテルレセプション
- WEYO 表彰式**



### 6月10日(日)

解散





## 『大賞受賞からこれまでの歩み』

EOY 2011 Japan チャレンジング・スピリット部門大賞  
株式会社リブセンス 代表取締役社長 村上 太一

Challenging Spirit 部門の大賞をいただいた後、弊社にとって非常に変化の大きい1年となりました。2011年12月には、東京証券取引所マザーズ市場へ株式上場、さらに2012年10月には市場第一部へ指定替えをすることができました。いずれも史上最年少(25歳)での上場であったことから、大学など次世代を担う学生の方々向けに講演をさせていただく機会を多数頂戴し、私の経験談等をお話することで、微力ながら貢献活動に取り組んでおります。

弊社は、ユーザー・顧客企業・弊社にとって三方良しの「成功報酬型ビジネスモデル」を活用し、求人サイトや不動産賃貸サイト等のインターネットメディアを運営しています。2012年8月末現在、サービス導入企業数は累計で20,000社を超え、ユーザー数は月間約1,000万人へ拡大しております。

今年もEOYを通して、新たな起業家をご活躍されることと思います。皆様と共に、私自身も弊社の事業活動や講演活動等により一層注力し、広く社会に貢献できればと考えております。



※ユーザー登録は「ジョブセンス」「ジョブセンス Link」の会員機能です。

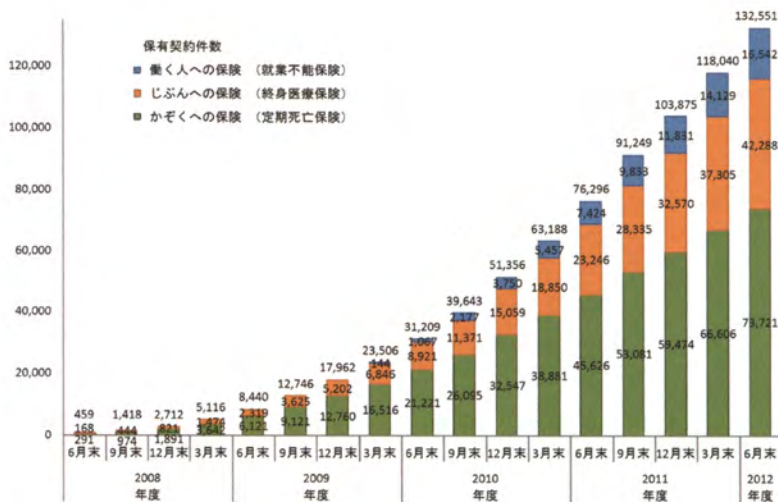


## ◆EOY 2008 Japan エントリー時から 現在までの変化

ライフネット生命保険株式会社 代表取締役社長 出口 治明

2008年5月18日の開業から1398日（3年9カ月と27日）の2012年3月15日に、ライフネット生命は東証マザーズ市場に上場しました。「子育て世代の生命保険料を半額にして、安心して赤ちゃんを産み育ててほしい」という思いで設立したライフネット生命は、「ネット生保」という新しい業態の確立とブランド認知の獲得に努めた結果、保有契約件数は、同年9月末で144,577件となり、「開業後5年以内に保有契約15万件」という当初の経営目標の達成を目前に順調に成長を続けています。

また、8月には米国の国際的なコンペティションにおいて、日本の金融機関としては史上初めて「Company of the Year（カンパニー・オブ・ザ・イヤー 金融機関カテゴリー）」において、ブロンズスティービー賞を受賞するなど、当社の商品・サービスは国内外のランキングやアワードにて高い評価をいただいております。今後も、民間保険会社に求められるサービスを追求し、お客さまの期待に応えるとともに安心をお届けできるよう邁進していきたくと考えています。







# EOY 2012 Japan 候補者プロフィール

## INDEX

### 【National Entrepreneur of the Year 部門】

粟田 貴也	株式会社トリドール	20
ハリー・A・ヒル	株式会社オークローンマーケティング	21
細野 昭雄	株式会社アイ・オー・データ機器	22

### 【Accelerating 部門】

岩本 博	株式会社エスクリ	23
木村 一義	株式会社シェルター	24
佐藤 廣志	エヌ・デーソフトウェア株式会社	25
真田 哲弥	KLab 株式会社	26
柴野 豪男	サクセスホールディングス株式会社	27
高島 宏平	オイシックス株式会社	28
辰野 勇	株式会社モンベル	29
坪谷 ニュウエル 郁子	株式会社東京インターナショナルスクール	30
富田 洋	ジオ・サーチ株式会社	31
野田 泰義	KTX 株式会社	32
林 高生	株式会社エイチーム	33
松村 博史	医療法人徳真会グループ	34
米山 久	株式会社エー・ピーカンパニー	35

### 【Challenging Spirit 部門】

安 英壹	株式会社ワイエスシーインターナショナル	36
鶴飼 裕司	株式会社フォティーンフォティ技術研究所	37
小比賀 理延	ADAPTEX 株式会社	38
佐々木 勉	株式会社アイキューブドシステムズ	39
佐藤 航陽	株式会社メタップス	40
丹下 大	株式会社 SHIFT	41
丹野 博	株式会社キュービクス	42
寺田 親弘	三三株式会社	43
西田 竹志	インヴェンティット株式会社	44
安田 功	株式会社パイ・アール	45
山本 強	地盤ネット株式会社	46

# EOY 2012 Japan 候補者

## 2012 候補者

### National Entrepreneur of the Year部門

#### 全3名のご紹介



**粟田 貴也**

株式会社トリドール

ひとりでも多くのお客様にいつまでも愛され続ける地域一番店を創造していこう



**ハリー・A・ヒル**

株式会社オークローンマーケティング

「世界中でより豊かなライフスタイルを実現します」



**細野 昭雄**

株式会社アイ・オー・データ機器

皆様のデジタルライフに、次世代の信頼性と豊かさをお届けしたい

## 2012 候補者

### Accelerating部門

#### 全13名のご紹介



**岩本 博**

株式会社エスクリ

施設スタイルにこだわらない都市型プライダルオペレーター



**木村 一義**

株式会社シェルター

最先端木質構造技術「KES構法」がつくる木造都市のバイオニア



**佐藤 廣志**

エヌ・デーソフトウェア株式会社

「人のやらないことを、人のやらない方法で」をモットーに、ヘルスケアのトータルソリューションを提供いたします



**真田 哲弥**

KLab株式会社

ソーシャル、スマートフォン、その先の世界へ



**柴野 豪男**

サクセスホールディングス株式会社

「保育」を通じ、子育て支援を始めとした総合的ライフスタイルサポート業を目指しております。



**高島 宏平**

オイシックス株式会社

生産者と消費者をつなぐオンラインマルシェ



**辰野 勇**

株式会社モンベル

自然を愛し、アウトドアスポーツを通じてより良い持続可能な社会作り貢献する。



**坪谷 ニュウエル 郁子**

株式会社東京インターナショナルスクール

独立自尊の精神を持ち、世界のどこでも自分の責務を果たす真の国際人を育てる。



**富田 洋**

ジオサーチ株式会社

人の命と生活を守る「インフラの内科医」



**野田 泰義**

KTX株式会社

エレクトリックフォーミングテクノロジーを追求発展させ低炭素社会に限りなく貢献する



**林 高生**

株式会社エイチーム

「今から100年続く会社」を目指して・・・エンターテインメントとライフサポートの総合IT企業



**松村 博史**

医療法人徳真会グループ

世界で最も優れた歯科医療グループ創造への挑戦



**米山 久**

株式会社イー・ピーカンパニー

ありきたりじゃない新・外食生販直結モデル「食のありべき姿」を目指す



2012 候補者

Challenging Spirit  
部門

全11名のご紹介



安 英壹

株式会社ワイエスシーインターナショナル

モバイルライフに驚きと感動の価値を提供する真のユビキタス社会実現の架け橋を目指す。



鶴飼 裕司

株式会社フォティオンフォティイ技術研究所

世界トップレベルのセキュリティ・リサーチ・チームを作り、コンピューター社会の健全な運営に寄与する



小比賀 理延

ADAPTEX株式会社

一効率化を研ぎ澄ますー生産や物流の最適化ソリューションを展開し省エネや経営改善に貢献



佐々木 勉

株式会社アイキューブシステムズ

モバイルファーストプラットフォームによってグローバルなビジネス貢献を目指す



佐藤 航陽

株式会社メタップス

Androidアプリ収益化プラットフォーム“metaps(メタップス)”アプリ開発者の悩みである集客・活性化・収益化を同時に実現



丹下 大

株式会社SHIFT

How からWhatへ。創造的なITサービスを世界中に提供する企業



丹野 博

株式会社キュービクス

「研究から臨床へ」最先端の医学研究成果を事業化。血液による消化器がん検査が第一弾。がん検査のリーディングカンパニーを目指します。



寺田 親弘

三三株式会社

ビジネスの出会いを資産に変え、新たな価値を生み出す～世界最強のソーシャルツール、名刺の可能性に挑む～



西田 竹志

インヴェンティット株式会社

M2Mをリードしてインテリジェント遠隔サービス管理プラットフォームで新たなアフターマーケットサービス市場を作り出す



安田 功

株式会社バイ・アール

日本の物流の安心と安全そしてエコを支える新しいシステムの開発を目指します。



山本 強

地盤ネット株式会社

生活者と供給者の情報格差を埋め、取引をより対等かつ円滑にする生活者の代理人「住生活エージェント」として、生活者により良い住生活を提供する。





National Entrepreneur  
of the Year部門



ひとりでも多くのお客様にいつまでも愛され続ける  
地域一番店を創造していこう

あわ た たか や  
**栗田 貴也**

1961年生まれ

会社名:株式会社トリドール

設立年月:1990年6月

所在地:〒651-0088 兵庫県神戸市中央区小野柄通7丁目1-1 日本生命三宮駅前ビル11階

TEL: 078-200-3430 FAX: 078-200-3431

URL: <http://www.toridoll.com/>

◆プロフィール

◆略歴概要

1961年10月28日 兵庫県神戸市生まれ(50歳)  
兵庫県立加古川東高等学校卒業。神戸市外国語大学中退。  
学生時代のアルバイト経験を通じて飲食業の魅力に目覚める。

1985年 8月 個人事業として焼鳥店「トリドール三番館」を創業

1990年 6月 (有)トリドールコーポレーション設立

1995年10月 (株)トリドールへ組織変更

◆受賞履歴等その他

2011年 3月 第5回「IPO大賞」グロース部門受賞 <社  
関東ニュービジネス協議会主催>

2011年 7月 香川県丸亀市文化観光大使就任

◆起業に至った動機

大学生時代に喫茶店でアルバイトをするようになり、その面白さに引かれて、自分で喫茶店を開業したいという強い気持ちを持つようになりました。喫茶店開業という目標を定めた後は、もともと独立して自分の会社を起業したいと考えていたので、学士の資格よりも開業資金が必要だと考え、迷わず大学を中退。開業資金を得るために運送会社のセールスドライバーとして勤務することに決めました。

その後は、「できたての美味しい食事をお客様に提供したい」という想いで、わずか8坪の小さな焼き鳥店を創業するに至ります。

◆会社の沿革と事業の変遷

1985年 8月 創業店として焼鳥居酒屋「トリドール三番館」(兵庫県)を開店

1990年 6月 (有)トリドールコーポレーション設立

1995年10月 (株)トリドールに組織変更

2000年11月 セルフうどんの新業態として「丸亀製麺加

- 2004年 9月 古川店(兵庫県)開店  
フードコート店向け焼きそばの新業態として「長田本庄軒イトーヨーカ堂明石店」(兵庫県)開店
- 2005年 4月 ラーメンの新業態として「丸醬屋イオン苫小牧店」(北海道)開店
- 2008年12月 東京証券取引所第一部に上場市場を変更
- 2010年 7月 米国・ハワイに海外子会社 < TORIDOLL USA CORPORATION > 設立
- 2011年 4月 ハワイ・ワイキキに海外1号店  
「MARUKAME UDON Waikiki Shop」を出店
- 2010年11月 香港に海外子会社 < 東利多控股有限公司 > 設立
- 2011年 5月 丸亀製麺 全都道府県への出店達成
- 2011年 8月 丸亀製麺国内500店舗を達成
- 2012年 1月 丸亀製麺 タイ1号店をバンコクに出店
- 2012年 2月 ロシア・モスクワに海外子会社 < Toridoll LLC > 設立
- 2012年 3月 丸亀製麺 中国1号店を上海に出店

◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

■現在、トリドールの高成長を支える主力業態がセルフ讃岐うどん「丸亀製麺」です。

⇒「お客様に本格的な讃岐うどんのおいしさを味わっていただきたい。」そのような思いから、すべての店舗に製麺機を持ち込み、各店舗で小麦粉からうどんを打ち、熟成させ、調理することで「手づくり・できたて」の商品を提供しています。

■その他にも各種業態の運営

⇒家族で楽しめる焼鳥ファミリーダイニング「とりどーる」、とことん自家製にこだわったラーメン専門店「丸醬屋」、神戸・長田の味「ぼっかけ」が特徴の焼きそば専門店「長田本庄軒」等を展開しています。

My Entrepreneurship

かつて飲食業がチェーンストア理論によって自社でカミサリーや物流センターをもち、画一化・効率化をはかり企業規模が著しく伸長し外食産業と呼ばれるまでになった。しかし2000年前後を境として市場サイズそのものが縮小しまたその傾向は続く。飲食店のなかった時代はまさに店そのものの存在が消費者に食の豊かさを提供できたが、今消費者も豊かな時代を経て成熟化していく中で、スケールメリットを追求するだけの飲食店そのものは消費者から見ても無機質な存在に映り、来店動機を減退させてきた。

その中で、いち早く消費者の潜在的ニーズを探り、手づくり出来たてに特化したうどん業態丸亀製麺を作り集客に成功した。うどんは巨大なマーケットがありながら、大規模なチェーン化が存在しない未成熟な市場でした。そこにかつてない出店速度で丸亀製麺を出店し瞬間に全国規模のシェアをとった。

かつての日本の外食産業急成長時代を彷彿させる年率二桁成長するマーケットがアジア・アセアン諸国に広がっている。今を絶好の好機ととらえ、世界にむけても果敢に進出を企てている。



National Entrepreneur  
of the Year部門

「世界中でより豊かなライフスタイルを実現します」

## ハリー・A・ヒル

1963年生まれ

会社名:株式会社オークローンマーケティング

設立年月:1993年5月

所在地:〒461-0005 愛知県名古屋市中区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル14階

TEL:052-950-1124(代表) FAX:052-950-1524(代表)

URL:http://www.oaklawn.co.jp

## ◆プロフィール

1963年7月22日生まれ。アメリカ・ニューヨーク州出身。(49歳)

1985年 コーネル大学文学部卒業。  
(在学中にJapan as No.1と言われた時代の日本に興味を持ち、日本語を学ぶ。)  
大学卒業と同時に岐阜県教育委員会の英語指導主事助手として来日。

1993年 リロケーションサービス、リース事業を行うH&amp;Rコンサルティングを設立。

1999年 株式会社オークローンマーケティングに入社。

2006年 代表取締役社長に就任。

現在、特定非営利活動法人ホープインターナショナル開発機構理事長、在日米国商工会議所特別顧問、通販関連業界国際団体 Electronic Retailing Association 理事長を務める。

## ◆起業に至った動機

2006年社長に就任し、弊社のビジネスモデルは、お客様に継続して商品を利用いただき、ご自身の目標や夢を達成することまでを私たちのサービス(商品)と位置付け、単純な物売りから主力商品をブランド化し事業展開を現在まで進めています。私たちのvaluesには「創造力」「多様性」「向上心」「起業家精神」「おもてなしの心」があります。その中の起業家精神は全社員が意識をして日々の業務を遂行しており、またオープンブックマネージメント(社内での数字の見える化)を展開し、社員一人一人が会社全般の経営状況や売上、コストを見る化し、起業家であるという意識を持って行動することが事業発展の原動力にもなっています。

## ◆会社の沿革と事業の変遷

1993年 株式会社オークローンマーケティング設立  
海外映像を使用したテレビショッピング事業を開始  
1999年 「ショップジャパン」ブランド創設  
2000年 東京オフィス開設 コンタクトジャパン名古屋センター(現名古屋センター)開設  
2005年 米国にGlobal Infomercial Services 設立

2006年 「ヒルズコレクション」ブランド創設、札幌コールセンター開設

2007年 本社をNHK名古屋放送センタービルに移転  
「ビリーズブートキャンプ」の販売台数が150万セットを突破

100℃を超える高温スチームが床掃除を変える「シャークスチームモップ」発売

7日間メリハリボディプログラム「コアリズム」発売

2008年 「エクサボディ」ブランド創設

2009年 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモと資本提携

2011年 深圳欧可隆技術咨询有限公司設立

2011年 九州オフィス開設、OLM千葉ロジスティクスセンター開設

## ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

テレビショッピングを中心に、多彩なメディアを通じて、お客様に世界中の優れた商品を提供しています。「ショップジャパン」「ヒルズコレクション」「エクサボディ」の3つのブランドを展開。それぞれが独自のコンセプトのもと、世界中の最高のアイデア・商品・創造性・エンターテイメントに、品質・サービス・細部へのこだわりという日本の価値観を融合させ、お客様の「より豊かなライフスタイルを実現します」という使命を果たしています。

## &lt;多彩なメディア&gt;

- ・ テレビショッピング
- ・ e コマース
- ・ モバイルショッピング
- ・ カタログショッピング
- ・ 店頭販売

## &lt;サービス体制&gt;

## ○コールセンター

名古屋・札幌の自社コールセンターからのお客さまの声を商品開発に反映しています。

## ○ロジスティクス・品質管理センター

中国の子会社・深圳欧可隆技術咨询有限公司で品質管理に取り組んでいます。

## ○商品の選定・買付・改良

アメリカの100%出資会社GISが商品の買付・契約を行なっています。

## My Entrepreneurship

私は事業の継続的な成長をするためには、世界で成功した商品やその販売戦略を日本でも成功させるという考えのもと、日々創意工夫をする視点を持つことの重要性を弊社ではとっています。例えば、フィットネスDVD市場ですが、2006年までは日本にはこの市場がなく、「ビリーズブートキャンプ」「コアリズム」などのヒット商品を世に送り出し、日本にもフィットネスDVD市場を確立させました。現在エイベックス様と共同開発した「TRFイージーダンササイズ」という商品を新たに発売しましたが、エイベックス様からも業界が低迷している音楽業界において、

アーティストと連携したフィットネスDVDにより新たな市場が確立できるかもと期待を寄せられています。ここから言えることは、私たちは社会現象を作り出し、社会に大きなインパクトを与えることができる会社であるということを実感し、そして誇りに思い日々の業務に邁進していくことです。今後は2009年に資本提携をしたNTTドコモとの連携強化によるマーケットへのインパクトです。確実にメディア環境が変わりデバイス(スマホ・タブレット等)がメディアの中心になっていきます。私たちは、TVを見ながらデバイスを使いショッピングをするというメディアコンバージョン(メディアの融合)の時代が来ることを確信し次のイノベーションに入っていきます。



National Entrepreneur  
of the Year部門



皆様のデジタルライフに、次世代の信頼性と  
豊かさをお届けしたい

ほそ の あき お  
**細野 昭雄**

1944年生まれ

会社名: 株式会社アイ・オー・データ機器

設立年月: 1976年1月

所在地: 〒920-8512 石川県金沢市桜田町三丁目10番地

TEL: 076-260-3377 FAX: 076-260-3370

URL: <http://www.iodata.jp/>

◆プロフィール

- 1944年 金沢市に生まれる
- 1962年 石川県立工業高等学校電気科 卒業
- 1962年 ウノケ電子工業(株) (現 株PFU) 入社
- 1965年 金沢工業大学の職員となる
- 1970年 株バンテック・データ・サイエンス 入社
- 1976年 株アイ・オー・データ機器を設立、代表取締役社長に就任
- 1986年 株石川県情報システム工業会 会長に就任 (現在は顧問)
- 2003年 情報化促進貢献個人等表彰「経済産業大臣賞」受賞
- 2011年 「金沢市産業功労賞」受賞

◆起業に至った動機

1975年、勤めていた会社を退職。この時は会社と自分の方向性の違いを感じ退職しただけであり、決して起業を目的に退職したではありませんでした。退職後、これまでにお付き合いのあったお客様へ退職の挨拶まわりを行う中、意図せずしてお客様の困りごとや要望を聞く機会に恵まれました。その要望に対して、これまでに培った自身の知識や技術で解決できるのではないかと漠然と感じ、起業することを決意。1976年に自宅ガレージにて、アイ・オー・データ機器を創業いたしました。

◆会社の沿革と事業の変遷

- 1976年 石川県金沢市に株アイ・オー・データ機器を設立
- 1977年 マイクロコンピュータを応用したシステム開発に着手
- 1980年 シャープ製MZシリーズパソコン用周辺ボードを開発、パソコン周辺機器分野へ参入
- 1984年 当社独自の「I・Oバンク方式」による日本電気製PC-9800シリーズパソコン用増設メモリボード(512KB)を開発、販売開始
- 1991年 日本証券業協会に店頭登録
- 2002年 デジタル情報家電の周辺機器分野へ事業範囲を拡大
- 2004年 ジャスダック証券取引所に上場
- 2010年 パソコン周辺機器関連3社で「一般社団法人デジタルライフ推進協会」を設立
- 2011年 スマートフォン周辺機器分野へ参入

◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

お客様のお手元のパソコン環境に「周辺機器」を追加するだけで、最新の製品と同等の機能を得る事ができ、また、長寿命化を可能にします。これらこそ「周辺機器」の存在意義であると考えております。

当社は30年以上にわたってコンピュータ周辺機器の開発に携わっており、取り扱う製品もメモリから、ストレージ、液晶ディスプレイ、マルチメディア、ネットワークへと、時代とともに拡大してまいりました。現在はパソコンのみならず、デジタル家電分野、スマートフォン分野にも事業領域を拡げ、周辺機器メーカーならではの機能拡張や新たな利便性の提案に取り組んでおります。

My Entrepreneurship

私は起業家に必要なマインドとして、「はしかい」という言葉を大事にしています。「はしかい」とは地元金沢の言葉で、「機敏、利口」の意。「ずる賢い」という意味で用いられることも多いのですが、私はこの言葉を「柔軟さ」と捉えています。

お客様により優れたサービスを提供するためには、自社のリソースの範囲で実現することに固執するのではなく、異なる強みを持ったパー

トナーとの協業も視野に入れる必要があります。顧客満足を最優先に考えた場合、時には競合他社と手を組むことが最良となることもあり得ます。顧客満足の実現に向け、これからも「はしかさ」を持った企業でありたいと思います。



## Accelerating部門

施設スタイルにこだわらない  
都市型ブライダルオペレーター

いわもと ひろし  
**岩本 博**

1965年生まれ

会社名:株式会社エスクリ

設立年月:2003年6月

所在地:〒107-0062 東京都港区南青山3-2-5 南青山シティビル

TEL: 03-5410-8822 FAX: 03-5410-3588

URL: <http://www.escrit.jp/>

## ◆プロフィール

- 平成元年4月 サントリー(株)入社  
平成3年5月 (株)リクルート入社  
平成6年 同社ブライダル情報誌「ゼクシィ」創刊プロジェクト参画。その後10年間、ゼクシィの営業に従事  
平成15年6月 リクルート退社。(株)エスクリ設立、現在同社代表取締役社長。

## ◆起業に至った動機

まずは企業に勤めながら起業後にまずは必要と思われる営業力をつけるべく、営業職を軸に活動を行った。

大学卒業後、平成元年にサントリー(株)に入社し、ルート営業を行ったものの、ルート営業だけでなく提案型の企画営業を行いたいと考え、平成3年に(株)リクルートに入社し、結婚情報誌ゼクシィの立ち上げに参画。ゼクシィ時代に培ったブライダルのマーケティングノウハウをもとに結婚式場運営会社、(株)エスクリを設立

## ◆会社の沿革と事業の変遷

- 平成15年6月 挙式・披露宴施設の運営を目的として、東京都中央区に(株)エスクリを設立  
平成17年3月 神戸市東灘区に『ア・ラ・モード・パレ&ザリゾート』(神戸事業所)をオープン  
平成17年11月 東京都港区に『ラグナヴェール AOYAMA』(青山事業所)をオープン  
平成18年9月 東京都港区に『ロザンジュイア』(広尾事業所)をオープン  
平成19年6月 『ラグナスイート ホテル&ウェディング名古屋』(栄事業所)における婚礼サービスの提供開始  
平成21年9月 横浜市港北区に『ラグナスイート ホテル&ウェディング新横浜』(新横浜事業所)を

- オープン  
平成22年5月 東京都中央区に『ラグナヴェール TOKYO』(八重洲事業所)をオープン  
平成23年4月 名古屋市東区に『ラグナヴェール NAGOYA』(栄駅事業所)、東京都中央区に『ザ マグナス TOKYO』(銀座事業所)、大阪市北区に『ラグナヴェール OSAKA』(堂島事業所)をオープン  
平成23年5月 大阪市北区に『ラグナヴェール PREMIER』(大阪駅事業所)をオープン  
平成25年6月 東京都渋谷区に『シャルマンシーナ TOKYO』(表参道事業所)をオープン

## ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

当社では、顧客である新郎新婦や列席ゲストに対する「施設の貸し切り感」「オリジナル感」の演出を重視し、挙式・披露宴で提供される、衣装、装花、引出物、料理、飲料、演出等を顧客のこだわりに合わせてトータルプロデュースする、オーダーメイド型の婚礼サービスを提供しております。

特に、衣装、装花、演出に関しては社内における内製化を推進しており、顧客の細かなこだわりにも対応し、一層の顧客満足度の向上を目指しております。

また、当社が運営する施設のうち、バンケット(披露宴会場)が複数ある施設に関しては、それぞれのバンケットに専用のチャペルまたはロビースペースを設置することにより、「施設の貸し切り感」の演出を行っております。「施設の貸し切り感」「オリジナル感」の演出のため、一軒家の邸宅風施設であるゲストハウス型施設が多い中、当社は、同様の演出が可能で、かつ出店立地に最適なスタイルでの出店を実施しております。

## My Entrepreneurship

リクルート時代からゼクシィという結婚ビジネスに関わることで、人の幸せのお手伝いを行うことの素晴らしさを実感してきました。今後においても、当社が提供している結婚式のサービスの質を高めることにより、顧客満足度を上げること。また、成長を通じてより多くのお客様に当社で結婚式を挙げてもらうこと。このことにより、結婚式という素晴らしい文化を維持または発展させていきたいと考えています。



Accelerating部門

最先端木質構造技術「KES構法」がつくる  
木造都市のパイオニア



きむら かずよし  
**木村 一義**

1949年生まれ

会社名: 株式会社シェルター  
設立年月: 1974年12月  
所在地: 〒990-2473 山形県山形市松栄一丁目5-13  
TEL: 023-647-5000 FAX: 023-647-5050  
URL: <http://www.kes.ne.jp>

◆プロフィール

- 1949年 山形県寒河江市に生まれる
- 1972年 足利工業大学工学部建築学科卒業  
卒業後、米国カーネギーメロン大学大学院留学
- 1974年 シェルターホーム株式会社設立 常務取締役役に就任
- 1982年 同社 代表取締役役に就任
- 1987年 「米国タコマ市の名誉市民賞」受賞
- 1998年 「財団法人発明振興協会 田邊発明功労賞」受賞
- 2004年 「社団法人発明協会 発明協会山形県支部長賞」受賞
- 2010年 「文部科学大臣表彰 科学技術賞」受賞
- 2012年 「農林水産大臣賞 民間部門研究開発功績者表彰」受賞

◆起業に至った動機

代々続く工務店の4代目。小学5年の時に学校で不公正・理不尽な扱いを受けて「今に見ている、会社を起して社長になる！」と誓い、起業の原動力となった。父が弟子達と刻み仕事（仕口・継手加工）をしている姿を見て、金物を使えば「シンプル・ストロング・スピーディになる」と確信した。

大学で建築を学びアメリカに2年間留学。親しくなった老夫婦の自宅に招かれ、豊かな暮らしの原点は住宅の質の高さにあると痛感。留学帰りにフランスで鉄骨と木造の混構造の建物を見た瞬間、金物で接合するイメージが鮮明になった。帰国後、会社を設立し接合金物工法の開発、実用化に取り組んだ。

◆会社の沿革と事業の変遷

- 1974年 山形県寒河江市にシェルターホーム株式会社設立  
世界初の接合金物工法による旧本社社屋を建築
- 1988年 KESフランチャイズ加盟店の募集開始
- 1991年 アメリカ・カナダでKES構法の特許取得
- 1993年 全国展開の拠点となる東京営業所開設
- 1995年 日本でKES構法の特許取得

- 1997年 山形県山形市に本社を新築移転  
商号を株式会社シェルターに変更
- 1999年 第1回シェルター学生設計競技を開催  
以降、毎年開催
- 2001年 岩手県浄法寺町庁舎にKES構法が採用される  
以降、庁舎建築に6棟の採用実績
- 2009年 経済産業大臣感謝状「元気なモノ作り中小企業  
300社」  
木製耐火建築部材の特許取得
- 2010年 「山形県産業賞」受賞
- 2011年 林野庁長官感謝状「木づかい運動 国産材利用  
推進部門」

◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

木造建築の仕口・継手（柱や梁の接合）を金物で緊結する「接合金物工法」を世界で初めて開発、アメリカ・カナダ・日本で特許取得。「KES構法（Kimura Excellent Structure System）」と名付け、接合金物工法の基準技術を確認した。基本3パターン、9種類の金物とし、その組み合わせで27バリエーションの接合が可能。住宅から大規模建築まで、大きさを変えるだけで対応できるのはKES構法だけである。アメリカでも、KES構法による教会などを木造で建築した。

KES技術を提供し、地域産木材を利用した大規模・耐火木造公共施設を、地元関連業者で設計・製材・施工するWin-Winのビジネスモデルを各地に構築。このモデルによる公共建築は700棟を数え、日本最多の実績である。市街地に木造建築が林立する「都市（まち）に森をつくる」運動を全国で展開。震災支援としてKES構法でシェルターが施工した陸前高田「みんなの家」が、ベネチア・ビエンナーレ国際建築展で最高賞の金獅子賞を受賞した。KES構法によって、木造は鉄骨・鉄筋コンクリート造の巨大マーケットに新たに進出し、世界に誇る「木造都市」を実現する。

My Entrepreneurship

人生の原点は住宅。北米、ヨーロッパを凌ぐ世界一流の住まいづくりが創業精神。「建物は命を守るシェルター」の建築哲学の基、何が正しいかを考え、創造・革新・挑戦を愚直に続ける。当社の業務そのものが地域活性化、環境改善に貢献。人間力を高めて利他に徹し、一燈を灯して万燈に広げたい。

木造在来軸組工法が、後継者難や2×4工法に押され存亡の危機下に、山形から世界初の接合金物工法を発信。阪神淡路・東日本大震災で、KES構法体が激震や巨大大津波に耐え、大災害に強い木構造と

して定着した。耐火技術を付加したKES構法は木造都市づくりを全国展開し、林業6次産業化、森林整備、街おこし、雇用創出など地域成長産業の基盤技術となる。

KES構法は木構造で世界No.1を目指す。鉄やコンクリートの市街地に木造都市を実現し、北米、ヨーロッパなどに発信。再生可能な森林資源による「人と地球にやさしい環境先進木造都市づくり」を日本がリードし、世界に向けて提案する。



## Accelerating部門

「人のやらないことを、人のやらない方法で」をモットーに、ヘルスケアのトータルソリューションを提供いたします

さとう ひろし  
佐藤 廣志

1948年生まれ

会社名: エヌ・デーソフトウェア株式会社

設立年月: 1979年9月

所在地: 〒992-0479 山形県南陽市和田3369

TEL: 0238-47-3483 FAX: 0238-47-3506

URL: <http://www.ndsoft.jp/>

## ◆プロフィール

- 1948年 山形県南陽市生まれ
  - 1979年 日東電子(株)設立 代表取締役社長就任
  - 1983年 エヌ・デーソフトウェア(株)設立 代表取締役社長就任 (現任)
  - 2003年 三菱総合研究所と共同出資で(株)日本ケアコミュニケーションズ設立 代表取締役就任 (現任)
  - 2006年 ジャスダック証券取引所に株式を上場
  - 2006年 (株)ネットウインを子会社化 代表取締役就任 (現任)
  - 2011年 日本コンピュータシステム(株)を子会社化 代表取締役就任 (現任)
  - 2012年 (株)メディパスを子会社化 代表取締役就任 (現任)
- 主な要職 南陽市行財政改革委員長、南陽市日中友好協会会長

## ◆起業に至った動機

サラリーマンを経て郷里に戻ってきた際に、今までの経験を活かして何か商売を始めようと考えており、山形県南陽市にて電子精密部品の製造を開始しました。製造業の下請けとしてスタートしたため大変な苦勞があり、自社製品を持つメーカーにならなければだめだ、何とかして自社製品を持ちたいという願望、想いを強く持っていました。その想いがソフトウェア開発への参入をきっかけに自社製品として結実し、これまで事業を継続してこれました。創業当時の起業家精神を忘れないようにしていきたいという想いを今回新たにしています。

## ◆会社の沿革と事業の変遷

- 1976年 5月 電子精密部品の製造開始
- 1978年 3月 日東電子(有)設立
- 1979年 9月 日東電子(株)設立
- 1982年 4月 ソフトウェア事業部発足
- 1999年 10月 介護事業部が発足
- 2003年 7月 (株)日本ケアコミュニケーションズを三菱総合研究所と共同出資で設立

## My Entrepreneurship

私は製造業の下請けとして約30年前に起業しました。その後介護・福祉関連ソフトウェア事業に参入し、介護保険制度スタートの追い風等を活かし、現在は業界トップクラスのシェアをいただくまでになっております。

私のモットーは「人のやらないことを、人のやらない方法で」です。具体例としては2000年の介護保険制度の開始時に、同業他社がカスタマイズ版の業務支援ソフトウェアを提供する中、パッケージ版のソフト

- 2006年 2月 ジャスダック証券取引所に株式を上場
- 2006年 6月 (株)ネットウインを子会社化
- 2007年 12月 住商情報システム(株) (現SCSK(株))と資本・業務提携
- 2008年 12月 日本高度紙工業(株)と業務提携
- 2009年 5月 Powerbuilderの日本国内の販売代理店業務を開始
- 2010年 2月 日本事務器(株)と業務提携
- 2011年 5月 NCSホールディングス(株)を子会社化
- 2012年 6月 (株)メディパスを子会社化

## ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

当社は主に以下の2事業を行っております。

## 1. ヘルスケア等ソフトウェア事業

- ・ 介護・福祉・医療関連の支援事業者、サービス事業者向けの業務支援ソフトウェアの開発・販売、サポート(特徴)
- ・ 比較的安価なパッケージ型業務支援ソフトウェアを提供、業務を効率的、経済的、正確に進めることが可能
- ・ 販売代理店を通じた営業活動により、ハードウェアのサポートは販売代理店、当社はソフトウェアのサポートのみを行う体制を構築

## 2. 介護サービス事業

- ・ 要介護者向け介護保険法や障害者自立支援法の要介護者支援事業、介護サービス事業の提供

その他グループ内他社では以下の事業を展開しています

- ・ 受託開発等ソフトウェア事業  
大手システムインテグレーター、メーカーに受託開発サービスを提供
- ・ ASP事業  
医療機関、介護・福祉施設向けに、インターネットによる介護報酬の電子請求サービスや金融支援サービスを提供
- ・ 要介護者向け訪問歯科診療サービス支援の提供

ウェアを他社よりも廉価で提供したことがあげられます。これが多くのユーザー様に受け入れられ、大手も市場から撤退していく中、お陰様で業績を拡大し会社をジャスダック上場へと繋げています。

今後はさらなる少子高齢化が日本をはじめ各国で予想されていますが、それを支えていくために必要なサービスを提供しているという使命を認識し、創業当時の起業家精神とモットーを忘れずに、今後も役割を全力で果たしていきます。





さな だ てつ や  
**真田 哲弥**

1964年生まれ

会社名: KLab株式会社

設立年月: 2000年8月

所在地: 〒106-6122 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

TEL: 03-5771-1100 FAX: 03-5771-1330

URL: <http://www.klab.com/>

◆プロフィール

- 1983年 個人事業「リョーマ」立ち上げ
- 1987年 ㈱リョーマ設立 代表取締役社長就任
- 1989年 ㈱ダイヤル・キュー・ネットワーク設立 代表取締役専務就任
- 1997年 ㈱アクセス(現㈱ACCESS)入社
- 1998年 ㈱サイバード設立 取締役副社長兼CTO就任
- 2000年 ㈱サイバードのR&D部門として㈱ケイ・ラボラトリー(現KLab㈱)設立 代表取締役会長就任
- 2001年 ㈱ケイ・ラボラトリー(現KLab㈱)代表取締役社長就任(現任)

◆起業に至った動機

2001年にNTTドコモの携帯電話movi503iシリーズが発売され、端末からプログラムのダウンロード/実行ができるようになり、携帯電話は通信機器からコンピュータへ変貌しました。

PCとは違う100%持ち運べるコンピュータの可能性に興味し、現在のKLab㈱の基盤を創りました。

結果的にはiモードでプログラムを実行できる端末は日本でしか普及せず、世界を変えることはありませんでした。

しかしそれが今、100%持ち運べるコンピュータはスマートフォンと名前を変えて登場し、KLab㈱設立時に興奮した可能性を実現できる世界がスタートしました。

◆会社の沿革と事業の変遷

- 2000年 8月 ㈱ケイ・ラボラトリー設立(現KLab㈱)
- 2001年 9月 GSM方式の携帯電話端末にJavaアプリケーションの提供開始
- 2009年12月 国内向けゲームタイトル『恋してキャバ嬢』配信開始
- 2011年 2月 国内向けゲームタイトル『キャプテン翼〜つらくろ〜ドリームチーム〜』配信開始
- 7月 提供ゲームの総登録ユーザー数が1,000万人を突破
- 9月 東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場

- 2012年 1月 国内向けゲームタイトル『真・戦国バスター for iPhone』をApp Storeで直接配信開始
- 2月 『真・戦国バスター for iPhone』が配信開始1ヶ月で国内App Storeのトップセールス1位を獲得
- シンガポールに子会社KLab Global Pte. Ltd.を設立
- 4月 アメリカに孫会社KLab America, Inc.を設立
- フィリピンのCyScorpions INC.(現KLab CyScorpions Inc.)を買収し孫会社化を買収し孫会社化
- 5月 東京証券取引所市場第一部に株式を市場変更(史上最短での市場変更を達成)
- 9月 海外向けゲームタイトル『Lord of the Dragons』を世界154ヶ国のApp Storeで配信開始
- 『Lord of the Dragons』が配信開始2週間で米国App Storeの無料ゲームランキング1位を獲得
- 提供ゲームの総登録ユーザー数が2,000万人を突破

◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

- 事業概要  
世界中のスマートフォン向けにモバイルオンラインゲームの企画・開発・提供を行っています。
- モバイルオンラインゲームの内容  
モバイルオンラインゲームはフリーミアム型の課金システムなので、ユーザーが気軽に利用することができ、ゲームを通じて知り合った友達と協力してゲームを進めたり、情報交換を行えることから、今までゲームを利用しなかった層にまで浸透し、市場が拡大しております。
- 事業の特徴  
当社はフリーミアム型ゲームのパイオニアとして、世界マーケットで成功するために企画・開発・提供の地域最適化を進め、国際分業体制を図っています。

My Entrepreneurship

私は学生の頃から、何かに情熱を注ぎたくてしょうがなく、思いついたアイデアや仕組みの実現を常に練っていました。そんな私の起業家としての信念は3つあります。1つめは『常に誰よりも先に、なによりも面白いことをやる』、2つめは『努力し続けてタイミングを待つ』です。そして最も大事にしているのは『勝負のタイミングを見極め、そのタイミングには一気に勝負の舵を切る』ことです。

当社は今、国内の市場から海外の市場へ一気に勝負の舵を切っています。我々ネット企業には国境という概念は有りません。あえて地域を分けるのであれば、英語圏マーケットや中国語圏マーケットなど、言語の違いのみです。世界のスマートフォン市場は、アメリカや日本などの先進国だけではなく、途上国でも拡大していこうとしています。その中でフリーミアム型ゲームのパイオニアとして、世界のスマートフォン市場のリーディングカンパニーの1社になることを目指しています。



## Accelerating部門

「保育」を通じ、子育て支援を始めとした  
総合的ライフスタイルサポート業を目指しております。

しば の たけ お  
**柴野 豪男**

1954年生まれ

会社名:サクセスホールディングス株式会社

設立年月:2010年11月

所在地:〒251-0025 神奈川県藤沢市鶴沼石上1丁目1番15号

TEL: 0466-55-5110 FAX: 0466-29-5567

TEL: <http://www.success-holdings.co.jp>

## ◆プロフィール

上智大学経済学部卒業

1989年12月 ㈱サクセスアカデミー 設立 代表取締役  
(現任)2010年11月 サクセスホールディングス㈱ 設立 代表取締役  
(現任)

## ◆起業に至った動機

(起業の経緯)

人からありがとうと感謝され、子どもたちの未来のために  
貢献できることを行いたいと考え、㈱サクセスアカデミーを設  
立し、学習塾経営を開始しました。

(保育事業を創業した経緯)

学習塾を営んでいく中で、保育(ベビーシッター)に関する  
相談を受けることがありました。当時(1990年頃)は、保育  
へのニーズが高まってきてはいるものの、保育に関する市場  
は未発達という状況にありました。このため、保育事業の必要  
性を強く感じ、保育事業を通じて子どもの成長と社会への  
貢献を図るために、1991年に保育事業を開始しました。

## ◆会社の沿革と事業の変遷

- 1989年 ㈱サクセスアカデミー設立し、学習塾事業を開始
- 1991年 学習塾事業から受託保育事業へ事業転換。病  
院内保育施設 運営開始
- 2004年 公的保育事業へ参入。認可保育園 運営開始
- 2005年 東京都認証保育所 運営開始
- 2006年 学童クラブ 運営開始
- 2008年 企業内保育施設 運営開始

2010年 当社(サクセスホールディングス㈱)設立

2012年 大阪証券取引所(JASDAQ市場)上場

## ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

## ・受託保育事業

(内容): 当事業では、病院や大学、企業など顧客施設内  
で保育サービスを提供しております。(特徴): 子育てをしながら働くためには、保育サービスが  
必要となりますが、病院などの不規則な勤務形態  
では、周辺地域の保育園だけでは十分な保育をま  
かなえない場合があります。

そのような環境にあって当事業では、顧客法人な  
どの福利厚生施設として、年中無休や長時間保育  
など、顧客ニーズに応じたきめ細かなサービスを  
提供し、子育て中でも働きやすい環境の整備を支  
援しております。

## ・公的保育事業

(内容): 当事業では、認可保育園、認証保育所を運営し  
ております。また学童クラブや公立保育園の指定  
管理者として、公的な保育施設の運営を行なっ  
ております。(特徴): 当事業では、保育サービスを必要とする地域にお  
いて子育ての環境を整備し、子どもたちの健やか  
な成長と地域社会の発展を支援しております。

## My Entrepreneurship

私は、「ありがとう」と感謝され、人や社会に貢献できることを具現  
化するために起業しました。

このため、当社グループは「人からありがとう」といわれるサービス  
を提供する」ことを理念としております。

我が国におきましては、景気の不透明感により共働き世帯が増加し  
ており、子育て環境を充実させることが強く求められております。しかし  
ながら、待機児童問題が示すように、子育て環境の整備が追いついて

おらず、保育事業への社会的期待が高まっております。

このような環境の中で、当社グループは理念を実現するために、保  
育を必要とする顧客・地域において子育ての環境を整備し、顧客や地  
域社会の発展を支援しております。

そして、次世代を担う子どもたちの健やかな成長をあたたく育んで  
いくことを通じて、人や社会へ広く貢献できるように努めてまいります。



Accelerating部門

生産者と消費者をつなぐオンラインマルシェ



たか しま こう へい  
**高島 宏平**

1973年生まれ

会社名: **オイシックス株式会社**

設立年月: 2000年6月

所在地: 〒141-0022 東京都品川区東五反田1-13-12 COI五反田ビル10F

TEL: 03-5447-2688 FAX: 03-5447-2689

URL: <http://www.oisix.com/>

◆プロフィール

- 1973年 8月 神奈川県生まれ
- 1998年 3月 東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻修了
- 1998年 4月 マッキンゼー日本支社入社
- 2000年 6月 オイシックス(株)設立、同社代表取締役社長に就任
- 2007年10月 NPO法人 TABLE FOR TWO International、理事に就任
- 2007年 1月 世界経済フォーラム(ダボス会議)のYoung Global Leadersの1人に選出
- 2011年 5月 日経ビジネスオンライン主催「CHANGEMAKERS OF THE YEAR 2011」受賞
- 2011年 6月 一般財団法人 教育支援グローバル基金(BEYOND Tomorrow)、代表理事に就任  
一般社団法人 東の食の会、代表理事に就任
- 2012年 6月 「ライフ・イズ・ベジタブルーオイシックス創業で学んだ仕事に夢中になる8つのヒント」出版

◆起業に至った動機

大学院時代にインターネット関連のベンチャーを立ち上げ、経営の楽しさを知り、より大きな事業経営を学ぶためマッキンゼー入社。仲間と事業内容を議論しながら準備し2年後に起業。

根本的な起業の想いとして「人の役に立ちたい」というものが強く、流通過程が長すぎた生産者と消費者の距離を近づけ、広がりつつあった食の安全性への懸念に対応するため、安全な食品をネットで販売するOisixを立ち上げ。お客様の食生活を支える食卓サポート業を目指す。海外でも食品ECは成功事例が1つもなかったこともモチベーションの1つとなった。

◆会社の沿革と事業の変遷

- 2000年 6月 オイシックス(株)を設立。「Oisix (おいしくす)」をオープン  
日商岩井(株) (現: 双日(株))と資本提携

- 2000年 9月 食の安全を監査する第三者機関「食質監査委員会」を設立
- 2004年 7月 インターネット通信販売事業でニッセンと業務提携
- 2005年11月 第9回オンラインショッピング大賞・グランプリを受賞
- 2008年11月 第8回ポーター賞受賞
- 2009年12月 「Oisix香港」をオープン
- 2010年 3月 「Yahoo!ショッピング」と連携開始
- 2010年11月 初の「Oisix」実店舗を恵比寿三越に出店
- 2011年 1月 リクルートとオイシックスによる食品通販サイト「ごちまる」サービス開始
- 2011年 3月 「Oisix」実店舗2号店目を二子玉川東急フードショーに出店。3月18日以降、食品の放射性物質の流通前自主検査を開始
- 2011年 4月 「がんばれ!関東・福島野菜」コーナーを開始。以降、「東の食の会」と連携し復興支援活動を実施
- 2012年 1月 放射性物質「不検出」のみをお届けする定期宅配「ベビー&キッズコース」開始
- 2012年 9月 東急ストアに初のOisix専用コーナー設置、中目黒本店から販売スタート

◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

インターネットなどを通じた一般消費者への有機野菜、無添加加工食品など安心安全で付加価値の高い食品・食材の販売をしています。

ネット販売事業では、旧来のカタログ通販のカタログ制作費、カタログ郵送料、カスタマーサポート人件費を大幅に削減し、これまで食品宅配業界では難しかった単品での注文対応、入会金・年会費の不要、お届け日時の指定など顧客ニーズに合わせたサービスを充実させることを実現し、ネット食品通販最大級となっています。また牛乳宅配店経由の事業も展開しており、60歳以上のアクティブシニアに向けて、牛乳と一緒に楽しめる食品や地方の名産品など数多くの商品をチラシでご案内するスタイルを構築しています。

さらに、2010年からは店舗事業を開始。現在、恵比寿三越と二子玉川東急フードショーに出店しており、インターネットだけではご利用いただけなかったお客さまにもOisixをご利用いただけるきっかけとなっています。

My Entrepreneurship

私は事業の成長＝社会への貢献、となる仕組みづくりに強い関心があります。Oisixは「より多くの方の豊かな食生活」の実現が存在価値であり、お客様に安心安全で美味しい食品を販売することで、幸せな食卓を送る方々を増やすと同時に、素晴らしい食品を作る生産者の方々が経済的に成功するというモデルを構築してきました。国内での更なる成長はもちろん、海外でもオンラインでのこうしたモデルはほぼ存在していないため、チャレンジしていきます。

また私自身は、会社を超えた活動として「TABLE FOR TWO」に理事として立上から関わっています。震災後には被災地の食品産業を支援する「東の食の会」及び、被災地域の学生向け教育団体「BEYOND Tomorrow」を立ち上げました。こうした経験から、私にとってのEntrepreneurshipとは、社会的に有意義なことを持続可能な状態にすることであり、要素として「クレイジーな情熱」「よいチームづくり」「実行力」が重要であると考えます。



## Accelerating部門

自然を愛し、アウトドアスポーツを通じて  
より良い持続可能な社会作りに貢献する。

たつ の いさむ  
**辰野 勇**

1947年生まれ

会社名:株式会社モンベル

設立年月:1975年8月

所在地:〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-2-2

TEL: 06-6531-4761 FAX: 06-6531-4969

URL: <http://www.montbell.com>

## ◆プロフィール

1947年7月31日大阪府堺市に生まれる  
1966年 大阪府立和泉高等学校卒業  
1966年 名古屋、玉沢スポーツ入社  
1967年 大阪、(株)白馬堂入社  
1970年 (株)丸正産業入社  
1975年 (株)モンベル創業 代表取締役社長に就任  
1982年 (株)ベルカディア創業  
1986年 (株)北陸モンベル創業  
1999年 (株)ネイチュアエンタープライズ創業  
2007年 (株)モンベル 代表取締役会長兼CEOに就任  
その他、公職あり

## ◆起業に至った動機

1969年、世界最年少21歳でアイガー北壁日本人第2登山家、カヤックによる黒部峡谷の初下降やヒマラヤの激流を下るなど冒険家としてアウトドアフィールドでその実績を残す。

高校卒業後は、登山用品専門店や繊維商社で登山用具や繊維素材の機能を勉強する。

それまでは、「重くて嵩張る」「濡れると乾かない」など、その素材に問題があった登山用具をポリアラミッドや、PTFEなどの高機能素材を利用することで、軽量で安全、快適な装備を作ることを発想して1975年28歳で起業。以来、登山を中心としたアウトドア用品の製造販売を行ってきた。

## ◆会社の沿革と事業の変遷

1975年 モンベル創業 寝袋など登山用品の製造し卸業を開始  
1985年 有料会員組織モンベルクラブ開始（現在会員総数36万人）  
1991年 大阪駅構内にモンベル直営店第一号開設（現在全国76店舗）

## 海外

1978年 ドイツの登山専門店「スポーツ・シュースター」へ寝袋の輸出を開始  
1994年 香港へのライセンス供与（現在直営2店舗と卸）  
2002年 モンベルアメリカをコロラド州に創業（現在直営1店舗、卸、WEB）  
2005年 モンベルスイス創業（グリンドルワルトに直営1店舗と全欧州へ卸）  
2008年 韓国LSグループへ韓国ライセンス供与（現在140店舗展開中）  
2010年 台湾へのライセンス供与（現在直営2店舗と卸）  
2010年 LSグループに中国ライセンス供与（現在北京に5店舗展開中）  
その他、シンガポール、オーストラリア、ネパールなど

## ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

従業員1200人全員がアウトドアスポーツの愛好者であり自らが消費者である。「社員自身が欲しい物を企画し生産する」ことが創業以来の物づくりのコンセプトである。製品生産は中国やベトナムなど東南アジアが中心。国内販売は、自社直営店76店舗と全国のアウトドア用品専門店への卸販売チャンネルによる。顧客対象の「モンベルクラブ会員組織」は、マーケティングの核である。年会費1500円の会員総数、36万人年間5億4千万円の前資で、カタログや会報誌を発行する。

更に、会員1名50円をモンベルクラブ・ファンドとして震災支援や障がい者支援、自然保護活動などの社会事業に運用する。

その他、モンベルクラブ・フレンドエリアと称するモンベルクラブ会員の優待サービスを提供していただく地域との提携で、地域活性にも寄与する。海外はアメリカ、スイスに現地法人。韓国、中国、台湾、香港とはライセンス契約。

## My Entrepreneurship

## 起業の理念

自然を愛し、アウトドアスポーツを通じて持続可能な社会の構築に寄与する。英知をもって自然との共生を模索し、祖先から受け継いだ自然環境を子々孫々に伝えること。また、野外活動から学ぶ、生きる知恵や、危機管理能力の大切さを広く啓蒙する。

企業が果たすべき社会貢献の基本は、自社の社員への雇用責任から始まる。モンベルは、終身雇用の日本型経営を踏襲する。種々の特

性をもった社員と共に「志」を遂げて行く。

その「志」はサービスを提供するモンベルの社員のみならず、そのサービスを受ける消費者とも、その価値観を共有する。その具体的な形が「モンベルクラブ会員制度」である。

企業が存続できる要は二つ、●その企業が「社会にとって必要とされていること」そして●「事業活動の経済バラス、即ち採算が取れていること」である。現在36万人の会員が将来100万人となりその支持を受けることを目指す。



Accelerating部門

独立自尊の精神を持ち、世界のどこでも自分の責務を果たす真の国際人を育む



つばや  
坪谷 ニュウエル 郁子

1957年生まれ

会社名: 株式会社東京インターナショナルスクール

設立年月: 1989年4月

所在地: 〒108-0073 東京都港区三田4-17-26

TEL: 03-5730-1107 FAX: 03-5730-1108

URL: <http://www.tokyois.com/main/>

◆プロフィール

- 1957年 神奈川県茅ヶ崎市で誕生
- 1976年 高校卒業後渡米、イリノイ州立西イリノイ大学 WESL (国際学生科) 卒業。9年間米国在住。
- 1985年 港区三田に「イングリッシュスタジオ (English Studio)」開校
- 1992年 結婚、第一子出産
- 1994年 東京インターナショナルスクールの前身となる全日制幼稚園「チルドレンハウス」開校
- 1997年 「東京インターナショナルスクール (TIS: Tokyo International School)」開校
- 2000年 様々な障害や特異な才能を持つが故に既成の教育空間から外れる子どもたちために「インターナショナルセカンダリースクール (ISS: International Secondary School)」設立 (2008年NPO法人化)
- 2007年 早稲田大学 人間科学部 人間環境科学科 卒業
- 2011年 武蔵野学院大学 客員教授就任

◆起業に至った動機

子ども時代から日本社会の窮屈さを息苦しく感じ、高校卒業時に米国留学を決心。親に1円も借りずに進学。帰国後、英語通訳の専門学校講師になったが、経営方針に疑問を感じ、自ら英語学校を起業。開発した指導方法が当たり、学校は急成長。その後、結婚・出産を機に、娘のために自分自身が思い描く教育を行っている幼稚園を東京中探すが見つからず、自ら「チルドレンハウス」(幼稚園)を開校。娘の成長に合わせて、自分が理想と考える教育を追及し、東京インターナショナルスクールの基となる小学校・中学校を設立した。

◆会社の沿革と事業の変遷

- 1985年 港区三田にイングリッシュスタジオ (English Studio) 三田校 開校
- 1987年 イングリッシュスタジオ 目黒校 開校
- 1994年 東京インターナショナルスクールの前身となる全日制幼稚園『チルドレンハウス』開校
- 1995年 インターナショナル・スクール・サポート・サービス (イ

- ンターナショナルセカンダリースクールの前身) 設立
- 1997年 全日制 小学校 東京インターナショナルスクール (Tokyo International School) 開校
- 1998年 イーエス・コンサルティング 設立
- 1999年 イングリッシュスタジオ 世田谷校 開校
- 2000年 インターナショナルセカンダリースクール (International Secondary School) 設立
- 2001年 全事業を統合し、「(株)日本国際教育センター」(JIEC)に改称
- 2004年 東京インターナショナルスクールを港区 旧南海小学校 (廃校)に移転
- 2005年 東京インターナショナルスクールを(株)東京インターナショナルスクールとして、その他3事業から分社
- 2008年 インターナショナルセカンダリースクールをNPO化
- 2011年 学童事業の運営を目指す(株)グローバル人材研究所 設立

◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

大使館関係者、グローバル企業の駐在員の子弟を主な対象として、男女共学・無宗教、英語を教授言語としたインターナショナルスクールを運営。

- ・国際インターナショナルスクール連盟 (CIS)、国際バカロレア機構 (IBO) の認定取得校として、国際的に通用する知識レベル・スキルが獲得できる教育を提供
- ・クラス内の男女比、母国語が英語の児童の比率、国籍の比率等の一定の基準を維持することで、英語レベルの維持とともに互いが尊重しあえる空間づくりに配慮
- ・教科書は使用せず、アップル社のモデル校としてICTを活用した探求型教育を実践し、ITリテラシーを身に付けるとともに、情報の探し方、価値のある情報の見分け方等も学ぶ

また、TISで培った教育を探求型英語教育カリキュラムとして、指導力を持ったネイティブ教師とともに日本の教育機関にも提供し、日本の子ども達の国際人教育も展開。来春からグローバル学童事業も展開予定。

My Entrepreneurship

21世紀を迎えた今、50年後、100年後の社会を「共生の社会」とすべく一人一人が持ちうる力をより良い社会の創造の為に、またそれが個の幸福の創造となるべき教育を提供して行くことが私達に課された義務であると考えています。そう信じて世界の将来を担う子供たちの教育に人生を費やしてきました。

起業家としての自分は、「これをやりたい」と思ったら、「できるか、できないか」ではなく「どうやったらできるか」と走り出してきました。

これまで、様々な困難もあり、またこの先も様々な困難に出会うかもしれませんが、常に自分の心の中にある芯に尋ねることで、自ずと答えに導かれていくと信じています。起業家とは、自分の力で考え、最後まで責任を持つことだと思います。

これから先も、この世に生まれ出た幸せに感謝しつつ、生きていることの幸せを噛み締められる全人教育の啓蒙、実践を行っていきたく願っています。



## Accelerating部門

## 人の命と生活を守る 「インフラの内科医」



とみ た ひろし  
**富田 洋**

1953年生まれ

会社名: ジオ・サーチ株式会社

設立年月: 1988年11月

所在地: 〒145-0051 東京都大田区西蒲田8丁目15番12号

TEL: 03-5710-0200 FAX: 03-5710-0211

URL: <http://www.geosearch.co.jp/>

## ◆プロフィール

- 1953年 兵庫県生まれ。慶応義塾大学工学部卒業。
- 1989年 ジオ・サーチ(株)を創業。
- 1990年 世界初の陥没事故を防ぐ「路面下空洞探査システム」を実用化。
- 1998年 地雷除去支援NGO「JAHDS」を創設し、地雷探知技術開発にも取り組む。
- 2000年 UNOPSの要請で国際会議（ニューヨーク）にて世界初の企業連合による国際貢献モデルとして「JAHDS」を発表。
- 2006年 タイ・カンボジア国境にまたがる大クメール遺跡周辺の地雷除去に成功し、現地へ活動を継承。（2009年世界遺産に登録）
- 2010年 地雷探知技術を進化させ、世界初の地中・構造物内部を高速・高解像度で透ける化できる「スケルカ」を実用化。
- 2011年～ 3.11東日本大震災直後より被災地での陥没予防と地震・台風などの大規模自然災害に備えるための事前防災・減災に向けて活動中。

## ◆起業に至った動機

1980年、前勤務企業の米国駐在時代に、地中を探査できるマイクロ波技術を習得。その技術を活用した調査サービス事業を企画し、社内ベンチャーリーダーとして帰国後3年で水路トンネルのコンクリート厚と背面空洞の調査サービス事業を世界で初めて考案・実現。本格化する段階で、前勤務会社が解散し、1989年1月ジオ・サーチ社を起業。

創業時に支援と経営指図をいただいた企業経営者から「事業は、人の役に立つ事が使命」「起業は容易だが、継続・発展は茨の道で命懸けで取り組み」と学び、いつもその想いを大切にしています。

## ◆会社の沿革と事業の変遷

- 1989年 ジオ・サーチ(株) 創業
- 1990年 世界初の陥没予防のための「路面下空洞探査システム」を実用化。
- 1993年 「路面下空洞探査事業」の革新性・社会貢献性に対してニュービジネス大賞優秀賞を受賞。
- 1996年 阪神大震災後の調査で多数の空洞を発見し二次災害予防に寄与。

- 1998年 企業理念の国際貢献実現の目的で地雷除去支援NGO「JAHDS」を設立。現地への活動を継承する。2006年まで資金・人材・技術の支援を継続して実施。日本文化デザイン賞を受賞。
- 2003年 盛和塾より稲盛経営者賞を受賞。
- 2004年 新潟県中越沖地震後の緊急調査で復旧に寄与。タイ王国ガラヤーニ王女よりNGO「JAHDS」が感謝状とトロフィーを授与される。
- 2008年 世界初の埋設物を三次元で透視する埋設管マッピングシステムを実用化。
- 2010年 世界初の高速・高解像度で地中・構造物内部を透ける化する「スケルカ」を実用化。2011年には、大田区新技術コンクール最優秀賞を受賞。
- 2011年 3.11東日本大震災直後より緊急調査に出動し、多数の空洞を発見。現在も調査活動を継続中。
- 2012年 震災後の緊急調査を通じて、地中の被災メカニズムを解明し、書籍「復活への道」を出版して事前防災・減災の重要性を啓発するとともに、新たに陥没危険度マップを考案し普及中。

## ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

- ・ 企業理念としての「災害に強い社会作りの一助となる」を実現するために、私どもの得意技を活かして、常に世界初の挑戦を続けています。
- ・ 例えば、道路陥没の原因となる地中の空洞や老朽化した橋の内部の劣化箇所や埋設物位置を、独自開発したセンサー技術、データ処理・解析技術をもとに迅速・正確に診断するいわばインフラの内科医療的な事業を運営しています。
- ・ 調査機材やデータ処理・解析処理技術は、常に現場からのフィードバックに応じて進化させています。
- ・ 特に近年急増している自然災害後のインフラの被災状況の確認や、輸送・支援ルートの安全を確保する救急医療的調査要請が増大しているため、現在は全国7拠点に世界初の高速・高解像度調査車(スケルカー)も配備し、人の命と生活を守るために自然災害に素早く対応できるサービスネットワークを確立しています。

## My Entrepreneurship

人の役に立ちたいと、自ら考案した技術を常に進化させ活用しながら事業展開しているうちに命懸けの地雷除去NGO活動や地震直後の危険な緊急調査活動で様々な試練と困難に直面しました。その時に「人の役に立ちたいという貢献心は、本能である」ことに気づきました。それ以降「この仕事は自分がやりたいからやっている天職であり、今の自分を最も輝かせるチャンス」と確信でき、日々進化・成長しています。

おりしも、3.11東日本大震災直後からの被災地での復旧支援活動を体験し、企業理念の「災害に強い社会作りの一助になる」ためにさらに進化させた診断技術(スケルカ)と鍛えたチーム力で、必ず襲ってくる自然災害とインフラの老朽化ラッシュに備える事前防災・減災の切り札としてのインフラ内科医療事業を、国内のみならず海外でも展開して人の命と生活を守りたいと考えています。



Accelerating部門



エレクトリックフォーミングテクノロジーを  
追求発展させ低炭素社会に限りなく貢献する

の だ やす よし  
**野田 泰義**

1941年生まれ

会社名: KTX株式会社 (旧 江南特殊産業株式会社)

設立年月: 1975年6月

所在地: 〒483-8111 愛知県江南市安良町地蔵51

TEL: 0587-54-5131 FAX: 0587-54-8698

URL: <http://www.ktx.co.jp/>

◆プロフィール

- 1960年 MTP化成(株)勤務
- 1963年 加藤仏壇店勤務
- 1965年 江南特殊工業 (創業) 代表
- 1975年 江南特殊産業(株)に改組代表取締役社長に就任
- 2000年 江南商工会議所副会頭
- 2002年 KTX America, inc. 代表取締役、現在に至る
- 2004年 KTX Thai Co., Ltd. 代表取締役、現在に至る
- 2004年 江南商工会議所会頭
- 2005年 KTX Mold Korea Co., Ltd. 代表取締役、現在に至る
- 2010年 藍綬褒章受章

◆起業に至った動機

動機は鋳物屋に勤めていた従兄を助けたいという想いからです。

大きな「やけど」をつくって帰宅した姿を見て、つらい仕事をしているな 電気で楽な仕事にならないものか つまり電気鋳造はないものか という疑問からです。そんな想いを持った時から不思議にもまるで細い蜘蛛の糸で引っ張られているかの様に電気鋳造をやらなければならない状況になっていました。そして、それが、天職と思えるように至りました。

◆会社の沿革と事業の変遷

- 1965年 愛知県江南市に江南特殊工業設立
- 1975年 法人化に至り社名を江南特殊産業(株)とする
- 1982年 ポーラス電鋳<sup>®</sup>の開発に成功
- 1984年 犬山工場に金型部門の設置
- 1989年 CANADA MOLD TECHNOLOGY INC. (合併企業) をカナダに設立
- 1989年 本社江南工場新設
- 1993年 ガルバノフォーム社 (ドイツ) にポーラス電鋳<sup>®</sup>技術供与し現在も継続
- 2002年 KTX America, Inc. (現地法人) 設立

- 2004年 モンゴルにVUTEQ MONGOL CO., LTD. (合併会社) 設立
- 2004年 KTX Thai Co., Ltd. を設立「モノづくりブランド NAGOYA」顕彰「愛知ブランド企業」認定
- 2005年 KTX-Mold Korea Co., Ltd. (現地法人) を設立「ものづくり日本大賞 特別賞」受賞
- 2006年 経済産業局『元気なモノ作り中小企業300社』顕彰
- 2007年 「新規事業中経連大賞 優秀賞」受賞
- 2010年 「MPM工法」が「素形材産業技術賞 素形材センター会長賞」受賞
- 2011年5月1日付で商号をKTX(株)と変更する

◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

1. 弊社の開発したポーラス電鋳<sup>®</sup> 凹引き成形金型は従来のスラッシュ成形と比べると1/14という極めて省エネ生産で、さらには成形サイクルが約1/5と極めて短いこと
2. ユーザー様と直接取引をさせて頂いて、トラブルが極めて少ないこと
3. 営業においては、それぞれの国のDNAを持った人、しかも日本の心を兼ね備えた人が携わっていること
4. ヨーロッパ地域においてはドイツのガルバノフォーム社に18年前より技術供与しており、現在もその関係は継続し、大きな実績となってポーラス電鋳<sup>®</sup> が世界的に認知される要因にもなっていること
5. 仮にトラブルが発生した時などは、すぐに現地に最適任者を送り込み対応することを第一優先させていること

My Entrepreneurship

「生かされている事を常に感謝し、仕事を通じ精いっぱい社会に貢献します」を経営理念に掲げ、電気鋳造こそが自分に与えられた使命だと心に決めて、電鋳の可能性の追求に励んでまいりました。今日までに幾多の新しい電気鋳造分野を開拓し、世に出し、お役に立っていますことは大きな喜びであります。

なかでも、ポーラス電鋳<sup>®</sup>は世界で初めて開発した技術であり、自動車の内外装のプラスチック成形金型として世界の主たる自動車メー

カー様のインパネ、ドアの生産型として中広く使って頂いております。また、2007年に開発した「MPM工法」は、当社が日米独で特許を取得している「金網配管電鋳」の技術を応用したまったく新しい工法で、これまで難しかった難流動性の炭素繊維入り樹脂を薄肉で成形することを可能とし、あわせて見映え性、軽量化を図ることが出来る画期的な射出成形金型であり、この工法はポーラス電鋳<sup>®</sup>と並んで弊社の事業の柱として考えております。



## Accelerating部門

「今から100年続く会社」を目指して……  
エンターテインメントとライフサポートの総合IT企業はやし たか お  
**林 高生**

1971年生まれ

会社名:株式会社エイチーム

設立年月:2000年2月

所在地:〒451-6032 愛知県名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー32F

TEL:052-527-3070 FAX:052-527-3080

URL: <http://www.a-tm.co.jp/>

## ◆プロフィール

- 1971年12月 岐阜県土岐市 生まれ  
1982年12月 コンピュータープログラミングを開始(小学校5年生)  
1986年 3月 岐阜県多治見市立多治見中学校 卒業  
1986年 4月 ~アルバイト(ソフトハウス、飲食店、新聞配達など)、学習塾経営  
1997年 6月 エイチーム創業。個人事業として、ソフトウェアの受託開発を開始  
2000年 2月 (有)エイチーム設立(現 株式会社エイチーム) 代表取締役社長に就任(現任)

## ◆起業に至った動機

9歳のとき陶芸家の父を亡くし、収入の柱を失ってしまったこともあり、県立高校の受験に失敗してからは進学せず、家庭を助けるためにさまざまなアルバイトをしてきました。

新聞配達、飲食店などのアルバイトのほか、学習塾経営を行ったこともありました。

小学生の頃からのめり込んでいたコンピュータープログラミングのスキルを活かしソフトハウスでアルバイトした事をきっかけに、エイチームを起業しました。

5人の子供達を育てるために、母親が作った借金を返済するにはサラリーマンの収入では生活が苦しかったため、起業することを選択しました。

## ◆会社の沿革と事業の変遷

- 1997年 6月 岐阜県土岐市にて、林高生の個人事業として、ソフトウェアの受託開発を開始  
2000年 2月 (有)エイチームを岐阜県多治見市に設立  
2003年12月 現在のエンターテインメント事業の初サービスとなる携帯電話向け公式サイトをオープン  
2004年11月 株式会社に組織変更

- 2006年 6月 現在のライフサポート事業の初サービスとなる引越し価格の一括見積サイトをオープン  
2006年 9月 KDDI(株)EZアプリ(BREW)初のMMORPG「エターナルゾーン」をリリース  
2007年 2月 本社を現在の名古屋ルーセントタワーに移転  
2007年 9月 中古車買取価格の一括査定サイトをオープン  
2008年10月 結婚式場の検索・予約・情報サイト「すぐ婚navi」をオープン  
当社初のスマートフォンアプリをリリース  
2009年 8月 当社初のSNS向けソーシャルアプリをリリース  
2010年 7月 女性向け体調管理・悩み相談サイト「ラルーン」をオープン  
2011年 8月 グリー(株)と業務提携  
2012年 4月 東証マザーズに上場  
2012年 9月 大阪に開発拠点「大阪スタジオ」をオープン

## ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

インターネット・モバイル端末をベースとしたコンシューマー向けサービスを軸に、以下2つの事業を展開

- ・人と人とのつながりをテーマとした、携帯電話、タブレット端末向けゲーム、デジタルコンテンツの企画・開発・運営などを行う「エンターテインメント事業」
- ・不安の解消をテーマとした、日常生活に密着した比較サイト、情報サイトの企画・開発・運営などを行う「ライフサポート事業」

これら特徴の異なる2つの事業を並行して手掛けることにより、経営の安定性と高い成長性のバランスを実現しています。

## My Entrepreneurship

私は、仕事を通じて得られる幸せは3つあると考えています。

1. みんなから必要とされる存在であること
  2. 金銭的に裕福であること
  3. 幸せにしたい人を幸せにできること
- 1つ目の「みんな」とは、社内の仲間、社会のお客様を指します。  
2つ目の「金銭的に裕福」とは、大きな利益を上げて、社員、株主、納税等で還元をするという事です。

その二つが実現できた時、人は幸せを感じ、周りに対し幸せな気持ちで接することができ、幸せの連鎖が生み出され、幸せにしたい人を幸せにできると信じています。この「幸せ」な状態が永続的に続く企業を目指し、エイチームでは「みんなが幸せになれる会社にする」「今から100年続く会社にする」の2つを目標に、仲間達とインターネットを通じて人々を楽しませるようなエンターテインメントサービスと、暮らしを便利にするライフサポートサービスの二つを提供しながら、よりグローバルに挑戦を続けたいと考えています。



Accelerating部門

世界で最も優れた歯科医療グループ創造への挑戦



まつ むら ひろ し  
**松村 博史**

1952年生まれ

会社名: 医療法人徳真会グループ

設立年月: 1981年4月

所在地: 〒956-0023 新潟県新潟市秋葉区美幸町3丁目2-25

TEL: 0250-25-2016 FAX: 0250-25-1739

URL: <http://www.tokushinkai.or.jp/>

◆プロフィール

- ・1952年熊本県生まれ
- ・新潟大学歯学部卒業後、1981年に新潟県新潟市（現・新潟市秋葉区）に松村歯科医院を開業。
- ・その後、現在までに新潟、宮城、大阪、東京、福岡を中心に国内25カ所、海外9カ所に医院を設立。
- ・その他、技工部門の㈱ワールド・ラボ、経営部門の㈱ゼネラルスタッフを設立。
- ・スタッフ総勢1000名、グループ全体の売上約70億円の日本最大規模の総合歯科グループに成長させる。
- ・2011年12月には東京都稲城市に敷地面積約2000坪の大型診療所をオープン。
- ・2013年には仙台市長町駅前の敷地面積約2600坪に、医療・介護の総合ステーションを建設準備中。

◆起業に至った動機

1978年新潟大学歯学部卒業後、大学で診療と学生教育を行っていた頃から、将来は独立して自分の歯科を開業しようと思っていたが、その頃は、平均的な歯科医院の開設くらいしか考えていなかった。

歯科を企業として創造しようと思い始めたのは、開業直後からで1人の人間の体力、能力の限界、小さな組織の限界を感じ始めると同時に、歯科界の体質への疑問を持ち始めた事による。

◆会社の沿革と事業の変遷

- 1981年 4月 新潟県新潟市に医療法人徳真会 松村歯科医院オープン（旧新潟市）
- 1985年 11月 ㈱ゼネラルスタッフ設立
- 1986年 11月 東京都豊島区に医療法人徳真会 まつむら歯科 駒込診療所オープン
- 12月 医療法人徳真会設立
- 1994年 7月 大阪府吹田市に医療法人徳真会 江坂歯科オープン
- 1995年 9月 宮城県仙台市に医療法人社団いずみデンタルクリニックオープン

- 1998年 6月 中国福建省廈門市に廈門徳真会歯科センターオープン
- 2001年 2月 アメリカロサンゼルスに㈱ワールドラボ U.S.A設立
- 11月 中国上海市に㈱ワールドラボ上海設立
- 2002年 11月 中国上海市虹橋開発区に上海徳真会本部と上海口腔診療所オープン
- 2004年 5月 福岡県福岡市に医療法人徳真会 はかた中央歯科オープン
- 2009年 7月 東京都目黒区に㈱ゼネラルスタッフ東京本部移転
- 2011年 4月 東京都目黒区に医療法人徳真会 Ustiiny Dental Instituteオープン
- 7月 東京都目黒区に先端歯科医療研究所設立
- 12月 東京都稲城市に医療法人玄徳会 わかば台デンタルクリニックオープン

◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

- ・徳真会グループは、現場（クリニック、㈱ワールドラボ）と経営（ゼネラル、ゼネラルスタッフ）の分離をしているのが大きな特徴である。
- ・クリニックは診療のみを行い、ワールドラボは入れ歯や被せものを作り、ゼネラル・ゼネラルスタッフはクリニックやワールドラボのサポートを行う。
- ・クリニックは8つの医療法人で構成されており、国内拠点は仙台5診療所・新潟12診療所・大阪3診療所・東京4診療所・福岡1診療所の計25診療所がある。
- ・中国には上海5診療所、蘇州2診療所、無錫1診療所、アモイ1診療所の計9診療所がある。
- ・ワールドラボは、国内が仙台・新潟・大阪・東京で、海外はロサンゼルスと上海にある。
- ・ゼネラルは開発部、経理財務部が所属しており、ゼネラルスタッフは人事部、システム部、企画部、広報部、総務部が所属している。

My Entrepreneurship

「医療は人なり」の理念のもと、創業以来「自立と創造」をテーマに組織創りを行ってきた。具体的には、地域、国家、業界から自立した組織運営を医療、介護、教育の分野で具現化してゆく。

その中核となる歯科分野は、「世界で最も優れた歯科医療グループの創造」である。

その定義は、

1. 患者様の視点からは、徳真会グループベネフィットの実践

<徳真会ベネフィット>

- 1) 安心・安全
- 2) 患者様の自己尊厳の満足
- 3) 快適さ
- 4) 利便性
- 5) 公正・公平・透明性
- 6) 適正価格
2. スタッフの視点からは、夢と誇り、可能性の持てる組織創り、そして活動の舞台は「世界」
3. 国家社会からは、
  - 1) 雇用の拡大
  - 2) 納税
  - 3) 人材育成
- 4) 業態改革
- 5) 国際貢献



## Accelerating部門



## ありきたりじゃない新・外食 生販直結モデルで「食のあるべき姿」を目指す

よね やま ひさし  
**米山 久**

1970年生まれ

会社名:株式会社エー・ピーカンパニー

設立年月:2001年10月

所在地:〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワー東館18F

TEL: 03-6277-8738 FAX: 03-6277-8754

URL: <http://www.apcompany.jp/>

## ◆プロフィール

- 1970年 東京都生まれ
- 1988年 帝京八王子高校卒業
- 2001年 (有)エー・ピーカンパニー(当社)を設立、代表取締役社長(現任)に就任
- 2006年 (有)エー・ピーファームの代表取締役(現任)に就任
- 2006年 (株)セブンワークの代表取締役(現任)に就任
- 2010年 (株)地頭鶏ランド日南の代表取締役(現任)に就任
- 2011年 (株)新得ファームの代表取締役(現任)に就任
- 2011年 (株)プロジェクト48の代表取締役(現任)に就任

## ◆起業に至った動機

20代に営業職、不動産業界、プライダル業界と様々な職種を転々としながら心から奮い立つ仕事、そして世の中に意味のある仕事を探していた。どの仕事においても必ず結果を残した。しかし、仕事の成果と自身の満足度が噛み合っていなかった為、どれも長続きしなかった。利益と社会性がバランスしていないと継続的に想いが持てないでいた。そんな中、たまたま新橋の路地裏の小さな焼き鳥屋に行った時にピンとくるものがあった。その店は農家が経営している焼き鳥屋だった。日本の第一次産業が衰退している中、この店の様にエンドユーザーにリアルを伝えていけば活性化につながる。ここから自社農場直営の店舗ブランドがスタートしていった。

## ◆会社の沿革と事業の変遷

- 2001年10月 東京都八王子市に飲食のプロデュースなどを事業目的とした(有)エー・ピーカンパニーを設立。
- 2004年 8月 地鶏モデル1号店「わが家八王子店」OPEN。
- 2006年 2月 宮崎県日南市に子会社(有)APファームを設立。同市内に自社養鶏場を建設し、みやざき地頭鶏の生産を開始。
- 2006年12月 鮮魚モデル1号店「魚米 新宿店」OPEN
- 2007年 8月 『じとっこ』ブランドのライセンス展開を開始。
- 2007年11月 宮崎県日南市に加工センターを建設、食品加工業務を開始。
- 2010年 3月 (株)セブンワーク(現連結子会社)を子会社化し、流通事業を本格化。
- 2010年 6月 (株)セブンワークが東京都中央卸売市場大田市場青果部の売買参加権を取得し、青果物の卸売業務を開始。
- 2010年12月 宮崎県延岡市島野浦で当日朝水揚げされた

- 2011年 6月 鮮魚を当日提供する「今朝獲れ便」を開始。宮崎県延岡市に(株)プロジェクト48を設立し、自社漁船による定置網漁業を開始。
- 2011年 6月 北海道土川郡新得町に(株)新得ファームを設立し、自社農場での新得地鶏の生産を開始。鮮魚モデルの主力ブランド『四十八漁場』の店舗開始。
- 2011年 7月 鹿児島県霧島市に自社農場を建設、黒さつま鶏の生産開始。
- 2012年 3月 ロードサイド1号店「鹿児島県霧島市 塚田農場 伊勢崎店」OPEN
- 2012年 6月 東証マザーズ市場に株式上場。
- 2012年 9月

## ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

- ・平均客単価4,000円前後の居酒屋を首都圏を中心に81店舗展開
- ・24企業45店舗に対して店舗ブランドをライセンス供与(「ライセンス契約」を締結し、当社が保有する商標及びノウハウ等を利用許諾)
- ・中食店舗を4店舗運営
- 【特徴1】生産地との直接提携関係と自社生産  
日本各地の農漁業生産者や地域と直接提携関係を構築すると共に、現地に設立する子会社等において地鶏や鮮魚の自社生産等(養鶏・加工業、定置網漁業)を行っています。
- 【特徴2】流通ソリューション  
生産地の課題に対して、物流コスト低減や納期短縮による鮮度向上、未利用魚(漁で獲れてもサイズが小さかったり、消費者にあまり知られていないために商品価値が低く市場に出回らない魚)の加工商品化等の流通ソリューションを立案し提供しています。
- 【特徴3】ブランド開発  
地域の食文化、生産物の特性、生産方法および生産者の想いを理解することを基本として、生産地や生産物の情報をメニューや店舗内装、接客等で伝達することにより付加価値を高めています。
- 【特徴4】CIS(顧客感動満足)を実現する独自の販促手法  
期待を超えるサービスの積み重ねこそが感動を引き起こし、再来店(リピート率の向上)につながるという消費者心理の分析に基づき、接客担当者が一定の予算内で自由にサービス(販促)を企画実行するという手法により、再来店動機の創出を行っています。

## My Entrepreneurship

生販直結モデルの事業で、今では宮崎だけでも養鶏場や雛の孵化センター、処理場、加工センターなどを含め、100名以上の雇用が生まれました。自分たちの事業が、第一次産業の活性化や、地方の雇用にもつながっている。店舗の客だけでなく、食料産地にも喜んでいる人たちがいる。この事実から、会社に「ミッション」が生まれました。この事業は、もはや自分たちだけのものではない。地方で生まれた新たな雇用を守り、さらに増やしていくためにも、この事業を継続的に発

展させていかなければならないと思っています。

もちろんビジネスなので、売上や利益は大事です。しかし、もっと大切なのは、継続的に事業を発展し続けていけるだけの「奮い上がる動機」だと考えています。社員やアルバイトスタッフと「食のあるべき姿を追求する」というミッションを共にし、それを実現したいと考えております。



Challenging Spirit部門



モバイルライフに驚きと感動の価値を提供する  
真のユビキタス社会実現の架け橋を目指す。

あん よん いる  
**安 英壹**

1971年生まれ

会社名: 株式会社ワイエスシーインターナショナル  
設立年月: 2004年12月  
所在地: 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-1-5 新宿嘉泉ビル3階  
TEL: 03-6911-3060 FAX: 03-6911-3070  
URL: <http://www.ysci.jp/>

◆プロフィール

- 1971年 6月24日 韓国ソウル生まれ
- 1996年 4月 横浜市立大学商学部に入学
- 1999年 4月～2000年3月  
アメリカテキサス州にて語学留学
- 2001年 3月 横浜市立大学商学部卒業
- 2001年 4月 (株)ワイエスシー入社
- 2002年 4月 同社 取締役営業本部長へ就任
- 2004年12月 (株)ワイエスシーインターナショナル設立し、  
代表取締役社長に就任
- 2006年 9月 韓国現地法人 (株)KYSC設立

◆起業に至った動機

高校生のときより、漠然でしたが、自分はいつか自分の力で絶対に起業すると決めていました。

韓国での徴兵の軍隊生活を終え、22歳のとき、語学留学生として大阪に來日、貧乏留学生生活を送りました。

1996年4月、24歳にして日本の大学で一から人生を再スタートしました。大学ではいろいろな成功者が書いたさまざまな経営・哲学書などを読みながら、自分の将来、人生設計について真剣に考えました。

それは、大学3年が終わったら、アルバイト代を貯めて大國アメリカに留学する。大学卒業したら韓国に帰らないで日本で就職する。就職先は給料の高さより私が社長になるビジョンを描けることにする。必ず35歳までには社長になる。40歳にはアジア中心としたグローバル事業展開ができる会社に育てる。45歳過ぎには株式上場を経験し、55歳までには真のグローバル企業グループを作り上げる。55歳過ぎからは現役のビジネスマンの顔として、人材育成の教育者とエンジェル投資家の顔としても国籍を問わずより多くの若者を支援する。という人生設計です。

◆会社の沿革と事業の変遷

- 2004年12月 (株)ワイエスシーインターナショナル設立、auショップ大久保の運営開始
- 2005年 4月 KDDIのコンテンツアグリゲーター事業開始
- 8月 KDDI / Ezweb公式コンテンツ「韓グル会話翻訳メール」サービス開始
- 2006年 4月 携帯電話での日韓翻訳SMSサービス「韓グルメール」開始

- 2006年 9月 韓国現地法人(株)KYSCを設立
- 2009年 2月 KDDIの会員制度「auマイプレミアショップ」システムの運用受託開始
- 3月 auショップ3店舗(高田馬場、王子、西葛西)の運営開始
- 9月 auショップ向け新サービス「SHP + (ショップ・ホームページ・プラス)」の提供開始
- 2010年 5月 中小企業新事業活動促進法による「経営革新計画」承認
- 2010年 5月 韓国にモバイルコンテンツ提供開始
- 2011年 8月 韓国SKテレコムの本邦でのスマートフォン向けアプリのプラットフォーム事業「qiip(キップ)」の運営受託開始
- 2012年 4月 KDDI / スマートフォンアプリマーケット「auスマートパス」にアプリ提供開始
- 5月 グローバル経営戦略研究所設立
- 6月 スマートフォン用ホームアプリ「SmaDeco(スマデコ)」のプラットフォーム提供開始

◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

弊社は真のユビキタス社会において顧客にその価値を伝えていく独自の商品とサービスを提供するスマート・モバイルライフ・クリエイター企業で4つの事業と経営戦略研究所があります。

- 通信事業 (au ショップ運営、法人向けモバイル販売など)
  - ソリューション事業 (au ショップ向け CRM ソリューションサービスなど)
  - スマーティメント事業 (コンテンツ開発、au スマートパスへアプリ提供、ホームアプリ「SmaDeco (スマデコ)」提供など)
  - プラットフォーム事業 (スマートフォンアプリマーケットの運営受託など)
  - グローバル経営戦略研究所 (リサーチ・サーベイ、コンサルティング、人材育成など)
- 人々のクリエイティブな感性に響き、モバイルライフに驚きと感動を与え、「より美しく心豊かな生活」を提供し、社会に役立つ事業を目指します。

My Entrepreneurship

チャレンジ精神こそ新たな価値・時代を創出させること信じ、人生で触れ合うすべての人々の幸せを我が喜びとし、誠実、勤勉、最高のサービスを通じて社会に貢献することを信条としています。

人間としても企業としても常に「夢と現実」、「情熱と温和さ」、「自信と謙虚」のバランス感覚を持ち、挑戦する気持ちを忘れずに日本に限らずグローバルビジネスを通じて、日本、韓国、アジア、さらには世界の架け橋となるような役割を果たす、優れた人材を育成することこそ、

経営者としての最上の喜び、使命であり、社会へ貢献することだと考えます。

人々のモバイルライフに驚きと感動を届ける仕組みを提供する真のユビキタス社会実現のため、独自の商品とサービスを提供するモバイルライフ・クリエイター企業を目指し、情熱と創造で、業界に新市場を切り開き、市場を拡大させることで日本経済を活性化させる架け橋になることを使命とします。



## Challenging Spirit部門

世界トップレベルのセキュリティ・リサーチ・チームを  
作り、コンピューター社会の健全な運営に寄与するう かい ゆう じ  
鵜飼 裕司

1973年生まれ

会社名:株式会社フォティーンフォティ技術研究所

設立年月:2007年7月

所在地:〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-18-18東急不動産恵比寿ビル4階

TEL: 03-6277-1811 FAX: 03-3449-2302

URL: <http://www.fourteenforty.jp/>

## ◆プロフィール

- 2000.3 徳島大学大学院工学研究科博士後期課程修了  
博士(工学)
- 2000.4 ~ 2003.1 日本コダック(株) 研究開発センター ソフトウェアエンジニア
- 2003.3 ~ 2007.6 eEye Digital Security シニアソフトウェアエンジニア シニアリサーチエンジニア
- 2007.7 ~ 2009.2 (株)フォティーンフォティ技術研究所 取締役副社長 最高技術責任者
- 2009.3 ~ (株)フォティーンフォティ技術研究所 代表取締役社長

## [専門分野]

セキュリティ脆弱性分析および対策、組み込みシステムセキュリティ、マルウェア分析および対策、P2Pシステムセキュリティ

## ◆起業に至った動機

米国でセキュリティ技術の研究開発に邁進する間、日本と米国におけるセキュリティ関連技術の「基礎力」の差が年々増し、技術者のモチベーション、社会的地位、待遇などに大きな開きが生じた。更に、日本特有、あるいは日本が最初に直面するセキュリティ上の脅威については、欧米のセキュリティベンダーの優先度は高くなく、常に対策が後手に回り、対策を実際に行う現場の方々は大変な苦勞をされていた。

このような状況の下、日本国内にて基礎技術研究をしっかり行える体制を作るべきだという思いが強くなり、日本で起業する事を決意した。

## My Entrepreneurship

私の考える起業家精神は、事業という方法で、自らの理想とする社会の実現に向け、勇気を振り絞って全力で前に進み、その過程で多くの人を幸せにしていく事だと思います。

私は米国のベンチャー企業でエンジニアとして4年を過ごし、新しいカルチャーと出会い、多数の友人に恵まれました。しかしその反面、日本のIT業界に何とも言えない寂しさを感じました。日本のITは強い底力を持ちながらも3K、7Kと言われ続け、一方米国では多くの人が明るい

## ◆会社の沿革と事業の変遷

- 2007年 7月 東京都新宿区山吹町において(株)フォティーンフォティ技術研究所を創立
- 2007年 7月 包括的セキュリティリサーチサービス「Prime Analysis」の提供を開始
- 2009年 5月 標的型攻撃対策ソフトウェア「FFR yarai」の販売を開始

## ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

コンピュータセキュリティは、いまや経済社会の中で重要なインフラの一つとなっています。当社は広範なセキュリティコア技術とリサーチ能力をバックグラウンドに、IT社会を取り巻く様々な脅威に対し、コンピュータシステムを守るセキュリティソフトウェア製品の開発及びセキュリティサービスを主な事業としています。

近年、コンピュータセキュリティに対する脅威は多様化・複雑化し、かつ急速に変化しています。機密情報漏洩、botやrootkitに代表される見えにくい脅威、増え続ける0-day脆弱性と標的型攻撃などにより、既存のリスク管理プロセスだけでは十分な対応を取る事が難しくなりつつあります。当社はこれらの脅威に対し、ユーザーのセキュリティリスク管理を支援しています。

未来に向かってチャレンジを続けている。

日本人の誰かがこのギャップを少しでも埋められれば、日本のIT業界はグローバルで大きな力を発揮するのではないかと。これからの世代に新しい希望を残せるのではないかと。そんな日本のITが生まれれば、世界はもっと楽しくなるのではないかと。

私自身は起業家としてまだまだ経験不足ですが、そんな思いを全力で支えてくれる多数の仲間が居る事に、日々感謝しています。

## Challenging Spirit部門



一効率化を研ぎ澄ますー 生産や物流の最適化  
ソリューションを展開し省エネや経営改善に貢献

お び か まさ のぶ  
小比賀 理延

1981年生まれ

会社名: ADAPTEX株式会社

設立年月: 2005年1月

所在地: 〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-13-60

TEL: 082-421-5039 FAX: 082-424-8187

URL: <http://www.adaptex.co.jp/>

### ◆プロフィール

- 2004年 高松工業高等専門学校専攻科首席卒業
- 2005年 ADAPTEX社設立し代表に就任
- 2006年 広島大学大学院教育学研究科首席卒業
- 2008年 中国経済産業局より中国地域起業家50選に選定
- 2010年 ひろしまベンチャー大賞受賞

### ◆起業に至った動機

起業のきっかけは至ってシンプルでした。当事、全国的に機運の高まる大学発ベンチャー設立の波に乗ってのことでした。大学院に在籍しながら若干23才で、経営も何も知らない状況での起業でした。今思えば、極めて無謀なことをしたなと思います。設立後は、製品開発や営業と併行して、会社作りや税務、法務、労務に至るまで一から勉強したことを覚えています。そんな一歩一歩の起業でしたが、何とか大学発ベンチャーとしての機能を実現し、社会へ貢献したいと強く思っていました。

### ◆会社の沿革と事業の変遷

- 1983年 現場の制御に主眼を置いた実践向けの高度制御技術開発に着手
- 1994年 石油精製会社、石油化学会社、製鉄会社との共同研究で技術の効果を確認
- 2005年 広島大学発ベンチャー企業としてADAPTEX設立
- 2006年 制御性能評価と制御系設計を統合した世界初の技術を研究レベルで確立
- 2008年 中国経済産業局より中国地域起業家50選に選定

- 2009年 生産性改善と省エネを推進する制御系最適化サービスを開始
- 2010年 省エネ推進の制御最適化サービスがひろしまベンチャー大賞受賞
- 2011年 アジア及び中東を中心とする海外案件に関する業務を開始

### ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

当社は、大学ベンチャーとして常に先端で確かな技術を創造し、昨今、国内のみならず世界的な課題とされている省エネや温室効果ガス削減、効率化などをテーマに事業展開を行っています。高度で確かな技術によって、安心安全な、そして持続可能な社会の創出に貢献したいと考えております。具体的には、以下のような事業を中心に取組んでいます。

- ・ 制御技術の高度化によって、プラント産業や自動車産業、オフィスビル等の省エネ化や高効率化を実現するソリューションを開発・販売
- ・ 物流計画や生産計画、機械設計などにおいて、コストの最小化と利益の最大化を実現する最適化システムを開発・販売
- ・ 途上国における産業の近代化のためのプロジェクトや、それを実現するための教育開発を企画遂行

## My Entrepreneurship

「ファーストベンギン」こそが、まさに我々のような若い起業家には必要だと思っています。ベンギンは餌を獲得するために、シャチやトドという天敵がいる水中に飛び込まなければなりません。そのような状況下で一番に勇気を持って飛び込むベンギンのことを言います。我々のようなEntrepreneurは、評論家になるにはならないと思います。自らがファーストベンギンの如く勇気を持って行動を起こし、そのプロセスと結果に準

ずる確固たる知恵と知識を習得せねばなりません。何事も行動を起こすにはリスクや不安が付きまとうものです。しかしながら、いつも人が成長し、真の知恵を得ているのは、行動を起こした結果であるということ忘れてはならないと思っています。様々な挑戦と経験を通して自らが成長し、良い志を持つことが、結果的に良い社会の創出や国益に寄与できると信じています。



## Challenging Spirit部門



## モバイルファーストプラットフォームによって グローバルなビジネス貢献を目指す

さ さ き つとむ  
**佐々木 勉**

1973年生まれ

会社名:株式会社アイキューブドシステムズ

設立年月:2001年9月

所在地:〒815-0033 福岡県福岡市南区大橋2丁目1-1 花村ビル5F

TEL: 092-552-4358 FAX: 092-552-4359

URL: <http://www.i3-systems.com>

## ◆プロフィール

- 1973年 長崎県平戸市生まれ。  
1992年 長崎県立平戸高等学校を卒業後、福岡市内の専門学校（専修学校コンピュータ教育学院（福岡市））へ進学。  
1996年 福岡市内のソフトウェア会社（株システムライフ（福岡市））へ入社。エンドユーザー企業内の業務システム開発を中心に従事。  
2000年末 同社退社後、2001年始め 個人事業として創業。同年9月に㈱アイキューブドシステムズ設立。  
2004年 ㈱アイキューブドシステムズに改組。現在に至る。

## ◆起業に至った動機

私の世代は、家庭用ゲーム機やPC、インターネットやiモードなど、ITによって社会生活に大きな変化があった世代です。また、多感な時期をバブル崩壊という不況の中で過ごした世代でもあります。戦後の大きな転換時に国を興したHONDAやSONYなど先輩ベンチャーの開拓の精神を知り、その行動力に尊敬の念を持ち、今このような時代に、私たちが、先輩方と同様、時代の大きな転換点あり、それは大きな機会だと考えるに至りました。そういった中、先輩の様にグローバルに通用するソフトウェアブランドを日本から創出したいという思いにかられ、決意を持って、自らも起業するに至りました。

## ◆会社の沿革と事業の変遷

- 2001年 個人創業。同年9月、有限会社設立。  
2004年 2月 株式会社へ改組。  
2008年 4月 Google社 Google Enterprise Partner 認定  
2009年 1月 Google社 Google Apps 向け機能拡張製品提供開始  
2009年 11月 Apple社 iOS 向けソリューションサービス開始  
2010年 3月 Apple社 iOS 用企業向け開発フレームワークライブラリ製品提供開始  
2010年 11月 Apple社 iOS 向けスマートデバイス管理製品を国内初で提供開始  
2011年 3月 VeriSign社と協業、スマートデバイス向けセキュリティ機能を拡充

- 2011年 5月 スマートデバイス管理製品の Android 向け機能拡張を提供開始、国内初でマルチOS対応に昇華。  
2011年 7月 スマートデバイス用企業向け基本アプリケーション製品提供開始  
2011年 11月 スマートデバイス管理製品が40,000ライセンスを突破  
2012年 9月 スマートデバイス管理製品が200,000ライセンス（国内トップシェア）を突破

## ◆事業概要（製品・サービス・技術の内容と特徴）

## 【中核事業】

弊社の事業は、iPhoneやiPad、Androidといった高機能モバイル端末を、企業利用するために必須となる

- 1) デバイス管理ソフトウェアサービス
- 2) アプリケーション開発サービス
- 3) アプリケーションクラウドサービス

の3事業を提供しています。

## 【国内トップシェア製品】

iPhoneやiPadの企業普及を見越し、日本で初めてiOS向けのデバイス管理サービスを市場へ投入。同サービスの市場は300%で成長中の中、国内外の競合が50社以上の参入する状況にありますが、現在もトップシェアを維持しています。

## 【モバイルアプリケーションへの知見による差別化】

- ・ 企業が独自のモバイルアプリケーションを開発し、現場活用することこそが今後の最大の競争力をもたらすことへの確信から、中古車ガリバーなどエンドユーザー企業向け独自アプリケーションの開発支援と、そのアプリ用のクラウドサービスを提供しています。
- ・ 同取り組みは、国内外で高い評価を受け、ITJapan Award 2012の準グランプリやApple社のグローバル公式事例にも採用されています。
- ・ 企業向けモバイルアプリケーションに対する知見を活かし、単にデバイス管理にとどまらず、その上で動くアプリケーション自体の管理やデータセキュリティを統合的に運用するためのソフトウェア製品の開発/提供を中核に据えており、大きな差別化が図れており、市場に支持されています。

### My Entrepreneurship

積極的な経済活動は、人々のよりよい社会生活や素晴らしい文化を育むために不可欠であり、その経済活動に躍動感を与えるのが、起業家の役割だと考えています。一般に、ITの世界においては、起業家はアイデアに溢れ、資金調達力があるシリコンバレー風の起業家を想像されがちのように思えます。一方で、私自身は、アイデアはあるものの、それをどう事業化するべきか、その方法を知らない無知から始めており、シリコンバレー的な起業家では全くありませんでした。ただ、グロー

バルに通用する価値を生み出すことへの強い願望を持ち続ける大事さ、学びを繰り返す、仲間を信じ、仲間と共に成長する喜びを知っています。日本のIT業界は、どの企業もグローバルに展開できておらず、多くは衰退の可能性が高い状況です。私たちの挑戦が、製造業の世界では、HONDAやSONYのように素晴らしい成果を上げた先輩方のように、社会に役に立つことを願い、また、後進に夢や指針を与えることを願い、起業家としてどこまでも成長して行きたいと考えています。



Challenging Spirit部門

Androidアプリ収益化プラットフォーム“metaps (メタップス)”  
アプリ開発者の悩みである集客・活性化・収益化を同時に実現



さとう かつあき  
佐藤 航陽

1986年生まれ

会社名: 株式会社メタップス

設立年月: 2007年9月

所在地: 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-12 FORECAST 新宿 AVENUE 5F

TEL: 03-5366-3790 FAX: 03-5366-3791

URL: <http://www.metaps.com>

◆プロフィール

15歳からビジネスをはじめ、大学入学後、2007年に(株)メタップスを設立し代表取締役社に就任。検索エンジンマーケティング事業、ソーシャルメディアマーケティング事業を立ち上げ収益化。2011年Androidアプリ収益化プラットフォーム事業を開始。

■略歴

- 1986年 福島県に生まれる
- 2006年 早稲田大学 法学部 入学 (後中退)
- 2007年 (株)メタップスを設立
- 2011年 シンガポールに子会社設立
- 2012年 香港・シリコンバレーに支社設立

◆起業に至った動機

家庭事情で中学生の頃から物を売る商売は日常におこなっていたので起業をすることに『法人格』を持ったというぐらいの認識でした。

以前は法律家が政治家になろうと考えていたので資金を貯めて大学の法学部に入学しました。生まれた環境に左右されず機会が平等に与えられ、努力次第で何者にもなれる社会を創ることが自分の人生の目的になっていました。その目的を達成するためには「弁護士」や「国会議員」よりも事業を拡大させる事が最も近道だと感じ、大学を中退して会社を設立しました。

◆会社の沿革と事業の変遷

- 2007年 9月 イーファクター(株) (旧社名) 設立
- 2008年 4月 検索エンジンマーケティング (SEO) 事業を開始
- 2011年 6月 スマートフォン事業参入のためSEO事業を売却
- 2011年 6月 シンガポールに子会社を設立

- 2011年 8月 Androidアプリ収益化プラットフォーム"metaps"を開始
- 2011年 12月 社名をサービス名と統一し(株)メタップスに変更
- 2012年 2月 4.4億円の第三者割当増資
- 2012年 5月 香港とシリコンバレーに支社を設立
- 2012年 8月 開始1年でサービス導入アプリが世界1,000万ダウンロード突破
- 2012年 10月 サービス導入アプリが世界3,000万ダウンロードを突破

◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

【サービス概要】

Android (アンドロイド) アプリを収益化するために必要な「集客」「ユーザの活性化」「収益化」を実現するための開発キットを世界中のアプリ開発者に提供しています。

【アプリ開発者のサービス導入のメリット】

- (1) 招待で新規ユーザ獲得 (集客)  
ユーザが友達をアプリに招待することで、良質な新規ユーザを継続的に獲得することが可能になりロコミ拡散効果を発生させます。
- (2) ユーザのアクティブ率向上 (活性化)  
無料ユーザにもアプリ内で使える仮想通貨を付与することでこれまで非積極的であったユーザをアクティブ化することが可能になります。
- (3) 無料ユーザからの広告収入 (収益化)  
ユーザがアプリ内広告に対してアクションを取ると仮想通貨が獲得でき、成果に応じて開発者にも広告収益が支払われます。

My Entrepreneurship

このままグローバル化が進むと高だけで付加価値の少ない日本人は世界から必要とされなくなる日が近いと思っています。

日本に蔓延する閉塞感の正体は社会の成熟による「危機感の欠如」と経済成長の天井が見えてくる事への「失望」です。人間は「危機」と「希望」の間で置かれた時に最も輝きを放つと思っていますが、今はその真逆です。

これからの起業家の役割は、政治的・経済的な国境がどんどん消えていくこれからの社会で「人」がどのように生きていくか、というケ-

ススタディを社会に示し、そのロールモデルになることだと私は思っています。

グローバル化は国民一人ひとりに「危機感」を芽生えさせ、起業家が先人を切って外貨を稼ぎ、そのノウハウを共有し世界で生きていくための「武器」を国民に与えることで「希望」を作り出す。それによって日本は活力は取り戻し、人の価値観は大きく変わると信じて、私は今の事業を行なっています。



## Challenging Spirit部門

How からWhatへ。  
創造的なITサービスを世界中に提供する企業たん げ まさる  
丹下 大

1974年生まれ

会社名:株式会社SHIFT

設立年月:2005年9月

所在地:〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目17番22号赤坂ツインタワー東館18階

TEL: 03-6277-7450 FAX: 03-6277-7490

URL: http://shiftinc.jp



## ◆プロフィール

1974年 広島県に生まれる。  
2000年 京都大学大学院工学研究科機械物理工学卒業後、(株)インクスに入社。同社で、たった3名のコンサルティング部門を、5年で50億円、140人のコンサルティング部隊にする。工程短縮手法として、プロセステクノロジーの特許を取得。個人としても、年間2億円のコンサルフィーを稼ぐ。  
2005年 9月 (株)SHIFT設立。代表取締役役に就任。(株)SHIFTにて、人工知能財団の助成事業を開始。川崎市、横浜市、SBI社のビジネスオーデションで優秀賞を受賞。

## ◆起業に至った動機

まだ小学4年生のころ、母親から「あなたはどやって食べていくの?」と言われました。まだまだ親に食べさせてもらおうと考えていたころですから、明日からご飯が食べられないかもしれないと、とてもショックでした。その時は野球に打ち込んでいたので、野球選手になって稼ごうと思っていたのですが、小学6年生の時、市の大会で大敗して間口の狭い野球の世界では難しいと考え、「世の中で成功するということは、人より抜きん出ることだろう。そのためには、自分の能力で勝てる分野で勝負することだ」と社長になる事を決意しました。

## ◆会社の沿革と事業の変遷

2005年 9月 (株)SHIFTを渋谷にて設立  
2006年 7月 本社を品川に移転  
2007年 6月 位置情報サービス「mife」をリリース

2007年 8月 ソフトウェアテスト事業を開始  
2007年 10月 本社を麻布台に移転  
2008年 7月 Webマガジン「ドリマガ」をリリース  
2010年 6月 本社を神谷町に移転し、東京テストセンターを設立  
2010年 9月 札幌テストセンターを設立  
2011年 4月 クラウドソーシングテストサービス「みんテス」をリリース  
2011年 5月 子会社アドバゲーミングを取得  
2011年 8月 本社を赤坂ツインタワーに移転  
2011年 12月 福岡テストセンターを設立  
2012年 3月 第三者割当により資本金251百万円に増資  
2012年 4月 インド国ブネに子会社SHIFT INDIAを設立  
2012年 6月 週刊ダイヤモンドにて、未来の大企業として紹介

## ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

## ■ソフトウェアテスト事業

- ・2カ月の金型製作期間を2日間にした製造業コンサルタントが創業。
- ・第三者検証会社として唯一自前でテストセンターを運営している請負企業。
- ・多種多様な案件にも順応する独自の管理システム「CAT」により実現する高度なプロセス管理。
- ・年間15万件の不具合、300万ケースのテストナレッジをDB化。
- ・3%の合格率をくぐり抜けたテスト専門集団による高度なテストサービス。
- ・最先端な研究チームから生み出される製品群(CI、CAT、リモートテスト)

## My Entrepreneurship

「一人ひとりが夢を持ち、そして、その夢の実現のために、それぞれが強みを持ち寄ることで強いチームが出来上がる。社長の仕事は、盛り上がりつつ面白く「場」を提供すること」であると思っています。

そして「SHIFT」を通して、世の中に「知の再分配をする」という夢が、私の行動の源泉となっています。この、「知の再分配」とは、政府が税金を集めて、公共の福祉にそのお金を投じる「富の再分配」と

同じように、私たちが優秀な人材を集めて、その「知」で世の中の人々が幸せになるサービスをつくり、それを世の中に提供していくことです。私たちの持っている才能は、自分のために使うのではなく、世の中が幸せになるために使っていきたいのです。そして、価値の高い人が集まってくるように、「SHIFT」がいつも盛り上がりつつ面白く感じる場にして、「知の再分配」を続けていくことが、いまの私の夢です。



Challenging Spirit部門



「研究から臨床へ」最先端の医学研究成果を事業化。血液による消化器がん検査が第一弾。がん検査のリーディングカンパニーを目指します。

たんのひろし  
**丹野 博**

1958年生まれ

会社名:株式会社キュービクス

設立年月:2004年8月

所在地:〒921-8836 石川県野々市市末松3-570 いしかわ大学連携インキュベータ203

TEL:076-201-8821 FAX:076-248-8832

URL:http://www.kubix.co.jp/

◆プロフィール

- 1981年 3月 富山大学工学部工業化学科卒
- 1981年 4月 米国医薬品企業「シリング・プラウ」入社
- 1996年 9月 同社製品企画部インターフェロンプロダクトマネージャー
- 1998年 4月 同部インターフェロン・リバビリン上市担当
- 2002年 1月 同社中部日本インターフェロン事業部長
- 2003年 1月 同社関西・中部日本インターフェロン事業部長
- 2004年 5月 同社退社。
- 2004年 8月 株式会社キュービクス代表取締役社長就任。
- 2006年 7月 金沢大学非常勤講師。現在に至る

◆起業に至った動機

2003年交流の深かった金沢大学消化器内科金子教授から「大学の発見」を実際の臨床の場に応用するための企業家はいないか、との問いかけに「私ではだめでしょうか？」と挙手。医療ニーズに合った金子研究室のシーズの豊富さ、前職医薬品メーカーでの人脈・ノウハウが新事業立上げに活かせるのではないかと、C型肝炎治療におけるインターフェロン療法により劇的効果があった患者さんは肝臓がんの恐怖から救われることを経験し、医学の発見と自分自身のノウハウでがんの早期発見における医療の一翼を担いたい、これが創業の思いであり動機です。

◆会社の沿革と事業の変遷

- 2004年 8月 金沢市で起業、学会運営事業、医薬品のCRO事業を開始。3年目で黒字。
- 2007年 1月 野々市市(旧野々市町)に事業拠点を移す。いしかわ大学連携インキュベータに入居。
- 2007年 2月 石川県に経営革新計画を申請、承認される。研究施設開設資金の融資を受ける。
- 2007年 3月 いしかわ大学連携インキュベータに設備投資、自社で遺伝子発現解析を可能にする。
- 2007年 8月 「血液RNA発現解析による消化器がん有無判定」金沢大学・関連病院と臨床試験を開始。

- 2007年 9月 「革新的ベンチャービジネスプランコンテストいしかわ」で最優秀起業家賞 受賞。
- 2010年10月 消化器がんを判定できる遺伝子群の特許出願、11月金沢大学と独占的許諾実施許諾契約締結。
- 2010年 ドイツZMO社とドイツにおける臨床試験実施と事業化について契約締結。
- 2011年 6月 衛生検査所の承認を受ける。
- 2011年 8月 消化器がんマイクロアレイ血液検査の受託検査(研究用)を開始。
- 2011年12月 第2種医薬品製造販売許可 承認を受ける。
- 2012年 3月 インドAvesthagen社と臨床試験およびインド、中東等での検査事業について契約締結
- 2012年 7月 経済産業省「課題解決型医療機器委託事業」に採択される。
- 2012年 9月 アントレプレナー オブザイヤー2012 東海北陸地区代表に選出される

◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

- <消化器がん血液マイクロアレイ血液検査>
- ・5年間にわたる金沢大学消化器内科・関連病院との多施設共同研究の成果。
- ・世界で始めて血液細胞がんがんに反応する様子を遺伝子レベルでつきとめる。
- ・「消化器がんを判別できる遺伝子群」は特許出願、成立する(2011年)。
- ・海外誌BBRCに論文発表。BBRC Vol400 p7-15 Sep 2010 "Differential gene expression profiling in blood from patients with digestive system cancers"
- ・消化器がんの有無を判定できるカスタムメイド「マイクロアレイ」を完成。
- ・検査は血液5.0ccのみ。
- ・適応は胃癌、大腸癌、膵臓癌、胆道癌。
- ・感度98%、特異度93%。
- ・X線被曝なし、特殊な薬剤の投与など必要なし。
- ・ドイツ、インドにてカスタムメイド「マイクロアレイ」の臨床性能試験を実施中。

My Entrepreneurship

医学という科学を尊重し事実と謙虚であり真実を追求する。それを基盤に製品を開発し、人の健康と幸福のため社会に貢献できる仕事をした。これが私の起業の理念です。医療現場では10年前は治らなかった病気が今は治る時代になっています。薬も治療法も日進月歩で進歩しています。キュービクスは医療分野における新しい価値を創造し、新たな製品を市場に投入、国内外で新しいマーケットを生み出します。第一弾は「血液による消化器がん検査」です。Entrepreneurshipの語

源は新しい事業の創造意欲に燃え、高いリスクに果敢に挑む姿勢のこととあります。キュービクスでは医療分野において、これまでにない新しい価値を生み出す努力を惜しみません。薬や医療技術の開発には大変な労力と費用を必要とし高い倫理観が要求されます。人の健康と幸福のため、サイエンスの事業化という高いハードルに挑戦し続ける。これがキュービクスの起業精神です。



## Challenging Spirit部門

ビジネスの出会いを資産に変え、新たな価値を生み出す  
～世界最強のソーシャルツール、名刺の可能性に挑む～

てら だ ちか ひろ  
寺田 親弘

1976年生まれ

会社名: 三三株式会社

設立年月: 2007年6月

所在地: 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-7-15 JPR市ヶ谷ビル6F

TEL: 03-6821-0033 FAX: 03-5211-4478

URL: http://www.33i.co.jp



## ◆プロフィール

- 1999年 3月 慶応義塾大学 環境情報学部卒業
- 1999年 4月 三井物産㈱入社 情報産業部門に配属
- 2001年 5月 米国転勤 Mitsui Comtek社 (シリコンバレー) 勤務
- 2002年 8月 本店ITソリューション事業部に帰任
- 2006年 2月 三井物産セキュアディレクションに出向 経営管理部長就任
- 2007年 5月 三井物産を退職
- 2007年 6月 三三㈱ 代表取締役就任
- 2011年11月 The Entrepreneurs Awards Japan U.S. Ambassador's Award (駐日米国大使賞) 受賞

## ◆起業に至った動機

物心ついた頃から、将来は世界を変えるような大きな事業をやると考えていました。起業した父親が楽しそうに誇りをもって働く様子に自然と影響を受けていました。世界の市場を見据えていたので、大学卒業後はグローバルなビジネス経験を積むため総合商社を選択。シリコンバレー赴任等貴重な経験をさせてもらいました。8年目に退職し、4人の仲間と起業しました。

現在の事業はいくつか考えていたプランの一つです。自分自身が名刺管理と組織の情報共有に解決すべき課題と可能性が眠っていると感じて生まれたアイデアで、入社して半年で企画書を書いていました。その後海外勤務を経て名刺は世界共通のビジネスツールであり、世界中が市場になるという確信を持ち、これで勝負しようと思えました。

## ◆会社の沿革と事業の変遷

- 2007年 6月 三三㈱設立。法人向けクラウド名刺管理『Link Knowledge』サービス提供開始
- 2007年10月 プライバシーマーク制度認定を取得
- 2009年 3月 「Tech Venture 2009」で審査員特別賞と準グランプリをダブル受賞
- 2009年 6月 第三者割当増資を実施
- 2009年 8月 Microsoft Innovation Award 2009 優秀

- 2009年10月 賞を受賞  
IPA主催「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー 2009」受賞
- 2009年11月 「人事異動情報の通知」に関する特許を取得
- 2010年 2月 Japan Venture Awards 2010 IT特別賞を受賞
- 2010年10月 徳島県神山町に古民家サテライトオフィス「神山ラボ」開設
- 2011年11月 The Entrepreneur Awards Japan2011U.S. Ambassador's Award (駐日米国大使賞) ほか3つの賞を受賞
- 2012年 2月 個人向け無料名刺管理アプリ『Eight』サービス提供開始
- 2012年 2月 日本テレワーク協会主催「テレワーク推進賞」優秀賞を受賞
- 2012年 3月 Link Knowledge国際版を提供開始
- 2012年10月 Link Knowledge導入社数800社を突破
- 2012年10月 グッドデザイン賞受賞

## ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

三三は、創業以来「ビジネスの出会いを資産に変え、新たな価値を生み出す」ことを経営理念とし、名刺管理から働き方を変えることに特化したサービスを提供しています。

世界初の法人向けクラウド名刺管理サービス『Link Knowledge (リンクナレッジ)』を開発、特許を取得しています。これまでに800社以上の企業に導入され、2012年には国際版を発表、海外でも活用されています。名刺を入口に情報共有を促進し、営業強化・顧客管理・マーケティングに活用することで組織の働き方を変え、収益最大化に貢献します。

また、2012年2月には「つなげて育つ名刺帳」として、ソーシャルネットワークの技術を活用した個人向けクラウド名刺管理アプリ『Eight (エイト)』を提供開始しました。

世界でも類のないこのビジネスモデルで、名刺を軸にした情報共有という「ソーシャル+エンタープライズ」の可能性に挑戦し、新たな価値と市場創造を目指しています。

## My Entrepreneurship

私は経営者より事業家、事業家よりイノベーターでありたいと常に考えています。「自分達がいたから生まれた」と言われるような価値、イノベーションを起こしたいという想いは一貫して変わりません。

三三のビジネスモデルは世界にも類の無いものです。SFA、CRM、名刺管理ソフトは山程存在しますが「名刺管理」から働き方を変え「企業の収益を向上させる」ことをコンセプトにしたサービスはない。そこに特化し創業以来軸をぶらさず勝負し続けている会社もない。大手企業

も参入してきましたが、私達は誰の真似でもなくパイオニアとして市場を創り、常にトップを走り続けています。

そして、名刺は世界中で年間数百万枚流通する世界最強のソーシャルツールです。全てのビジネスマンがその活用に課題を抱えながら、決定版といえる解決策がまだ存在しない。大きな可能性が眠っている未開拓の市場です。私は誰も解決していない課題に挑み、革新を起こすため、世界を舞台に挑戦を続けます。



Challenging Spirit部門



## M2Mをリードしてインテリジェント遠隔サービス管理プラットフォームで新たなアフターマーケットサービス市場を作りだす

にし だ たけ し  
**西田 竹志**

1955年生まれ

会社名: **インヴェンティット株式会社**

設立年月: 2007年6月

所在地: 〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町130番地42

TEL: 03-6272-9911 FAX: 03-6272-9912

URL: <http://www.yourinventiv.com>

### ◆プロフィール

- 1980年 京都大学理学部物理卒
- 1982年 大阪大学基礎工学部助手
- 1985年 IBMニューヨーク研究所客員研究員
- 1986年 工学博士
- 1987年 NEC中央研究所（コンピュータネット、インターネットの研究開発）種々のポジションを歴任
- 1996年 NECシリコンバレー研究所（インターネット技術の先端開発）種々のポジションを歴任
- 2000年 NEC Electronics America Inc. Executive Technology Director
- 2003年 米国シリコンバレーベンチャー Sr. Technology Director
- 2007年 インヴェンティットを設立 代表取締役社長に就任

### ◆起業に至った動機

2000年にNECの北米研究所にいた際に、シリコンバレーのスタートアップの精神に憧れて起業（スピンアウト）しようとしたことがあります。その際には条件が揃わず諦めました。その際には韓国や台湾のVCやエンジェルを回ってビジネスピッチ、資金集めを行い、その面白さに惹かれて、またいつか起業したいと思うようになりました。このためスタートアップの経験を積みたいと思い、NECを辞めて、シリコンバレーのスタートアップに再就職しました。さらに2007年に「だれでもが世界中のどんなものをも見守ることができる“モノ”と“モノ”、“ヒト”をつなぐためのポータルをクラウドで提供するグローバルトップベンダーになろう」という夢を持って友人と起業しました。起業する前に、ある大手の顧客にアイデアを紹介したら、彼らが丁度考えていたサービスに使えるから、技術ができれば採用するということがだったので、起業して技術（ソフト）開発を行い、大手システムインテグレータと顧客に無事納めることができました。

### ◆会社の沿革と事業の変遷

- 2007年 KDDI携帯端末遠隔診断システムに採用（最初の国内顧客ビジネス）

- 2008年 ドコモ携帯端末遠隔管理システムに採用
- 2010年 台湾キャリアにスマートフォン遠隔管理サービスとして採用（初めての海外顧客ビジネス）  
KDDI/IIJにスマートフォン遠隔管理サービスとして採用  
米国Red Herring社 Best Asia100社として受賞
- 2011年 ドコモ スマートフォン遠隔制御システムとして採用  
ソフトバンクモバイル遠隔ヘルスケアシステム受注  
自社スマートフォン遠隔管理ASP（MobiConnect）開始（最初の自社ブランドサービス開始）
- 2012年 太陽光発電遠隔管理システム受注  
ソフトバンクiPhone遠隔管理システムとして採用  
日本コンピュータソフトウェア協会奨励賞受賞  
JETRO（日本貿易振興機構）シリコンバレー拠点活用型北米ビジネス開拓支援事業に選出される

### ◆事業概要（製品・サービス・技術の内容と特徴）

- ① 市場にあるマシンやセンサーからの情報を遠隔からデータ収集して、機器や環境の監視・制御、人の見守りをするためのITシステム（M2M：マシンツーマシン）を構築するための基盤ソフトウェア（プラットフォーム）の開発・販売・構築支援、および本ソフトを利用したクラウドサービスの販売。  
特長としては自販機、エレベータ、工作機械、工事機械といった個別のマシンに特化せずに、種々のマシンやセンサーを遠隔管理するアプリケーションを開発できる基盤ソフト。
- ② Service-Syncを利用してスマートデバイス（スマートフォンや通信機能付タブレット端末）の企業向け遠隔管理ソフトの販売、およびそれを利用したASPサービスの提供。  
特長としては企業が社員が業務に利用するスマートデバイスを遠隔から制御、監視、設定することにより、種々のデバイス設定（メール、WiFiなど）、企業セキュリティポリシーの強制化、紛失・盗難時の対策、業務アプリケーション配布が可能。

### My Entrepreneurship

社名にしている“invent it” = “自分たちで未来を創造していく”の精神です。

“Don't worry about what anybody else is going to do... The best way to predict the future is to invent it.”

新しいことを始めるのは大きなリスクです。

過去の経験を生かしたほうが、ラクに決まっています。

でも、人生は短い。

私たちは新しいことへの挑戦は最高のぜいたくと信じて、常にお客様のために“未来をデザイン”してゆきます。

背景には「将来に不安があるからといってそれをこぼしていてもしょうがない、自分で創る未来であれば、その結果が良くても悪くても、自分で納得できる」ということがあります。

一方事業を進めていくうえで弊社の事業方針にご賛同いただき種々のご支援をいただく方がおられ、その方々へリターンを適当なタイミングで適当な方法で行っていく必要があると考えています。



## Challenging Spirit部門

日本の物流の安心と安全そしてエコを支える  
新しいシステムの開発を目指します。

やす だ いさお  
**安田 功**

1956年生まれ

会社名:株式会社パイ・アール

設立年月:2008年5月

所在地:〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町1-3-12 天満橋リーフビル7F

TEL: 06-6948-8011 FAX: 06-6948-8012

http://www.reco-der.com/

## ◆プロフィール

- 1994年12月 コンピュータ社会の到来に向けソフトウェア開発会社「株パイ」設立。  
2008年 5月 「株パイ」から分社し、「株パイ・アール」設立。現在に至る

## ◆起業に至った動機

約20年前、コンピュータソフトを勉強しながら開発する上でもっとも効率よく習得できる分野は？と考えました。

プログラム、グラフィックス、プランニング、エンターテインメント性等を収集するソフト＝「ゲーム」ソフトの開発でした。

14年ほどゲームソフト開発に従事、携帯電話の到来を感じゲームが大きく様変わりすると予期し、今ある資産をゲーム以外で活用できる分野を探しました。

アプリケーションソフトと通信を組み合わせた新しい分野のソフト開発の事業を志しました。

扱う商品はソリューションソフト開発です。ターゲットマシンは当初からスマホでした。

## ◆会社の沿革と事業の変遷

- 1994年12月 コンピュータ社会の到来に向けソフトウェア開発会社「株パイ」設立。  
2008年 5月 「株パイ」から分社し、「株パイ・アール」設立。エンターテインメントソフト開発から通信ネットワーク、携帯電話スマートフォンの制御系アプリケーションソフト開発に特化し、魚種転換を行う。現在 ロジスティック会社向け運行管理システム等を開発・販売。発売以来、約3,000社以上の運送会社様を顧客として運営しています。

## ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

「アルキラー」・・・スマートフォンを活用したアルコールチェックシステム。

「レコダ」・・・スマートフォンを活用したドライブレコーダーシステムアプリ。

「ポスロケ」・・・動態管理アプリ 社用車がいる位置を管理できます

「らくレポ」・・・日報アプリ 面倒な日報をアプリで簡単に。

## My Entrepreneurship

近年、交通事故被害がメディアにも大きく取り上げられ事故に対する社会的責任が大きくなってきています。

貨物、旅客輸送事業者は増々、事故を減らすために交通安全に取り組まなければなりません。

一般的に言われる増大する安全とコスト削減をスマートフォンを使うことにより手軽に導入できる仕組みをパイ・アールは日々考えています。

車両に取り付けられる専用機器(ドラレコ、デジタコ等)のデータと

運転するドライバーの情報をスマートフォンがハブのように情報処理センター(クラウド、サーバ等)でネットワーク管理できる仕組みを作り続けています。

国内だけでなく海外にも進出して安全なクルマ社会に貢献できるよう頑張っていければと強く思っています。

## Challenging Spirit部門



生活者と供給者の情報格差を埋め、取引をより対等かつ円滑にする生活者の代理人「住生活エージェント」として、生活者により良い住生活を提供する。

やま もと つよし  
**山本 強**

1966年生まれ

会社名: 地盤ネット株式会社

設立年月: 2008年6月

所在地: 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-7-9ダヴィンチ日本橋179ビル6階

TEL: 03-6265-1803 FAX: 03-6265-1804

URL: <http://jibannet.co.jp/>

### ◆プロフィール

- 1966年 6月 大阪府生まれ  
関西学院大学法学部卒業後、証券会社、住宅メーカー、地盤会社に在籍。
- 2008年 6月 当社設立 代表取締役社長就任。
- 2012年 5月 著書「地盤安心住宅をつくる方法」(エクナレッジ)を出版。
- 2012年 6月 著書「地盤革命」(あさ出版)を出版。

### ◆起業に至った動機

証券会社時代に、バブル崩壊を経験し、「成長する経営」について深く考えさせられました。不景気の中でも成長を続ける会社は「業界から嫌われる、消費者目線の会社」であり、業界の慣習に縛られず、消費者目線で考えられる会社が支持されることを強く実感しました。また、当社設立前の地盤会社時代には、単価の高い地盤改良工事によって、消費者の利益を損なう地盤業界における構造的な問題に強い憤りを感じました。この地盤業界の構造的な問題を打破し、消費者目線で経営を行いたいと感じたことが当社設立のきっかけです。

### ◆会社の沿革と事業の変遷

- 2008年 6月 地盤解析を主たる事業目的とし、当社を設立。「地盤セカンドオピニオン®」サービスの提供開始。
- 2010年 8月 中部支社を開設。
- 2011年 1月 関西支社を開設。
- 2011年 2月 地盤品質証明に地耐力計算書を標準セット化。

- 2011年 7月 札幌事務センター(2011年10月に北海道支社に組織変更)を開設。
- 2011年12月 九州支社を開設。
- 2012年 1月 東北支社を開設。
- 2012年 4月 「地盤セカンドオピニオン®判定マップ」をホームページ上で公開。
- 2012年 5月 「地盤液状化スクリーニング」サービスの開始。
- 2012年 8月 「地盤沈下事故ゼロの判定方法について」特許出願。
- 2012年 9月 伊藤忠建機・フューチャーアンドスペースと地盤測定機「Ground Pro (グラウンド・プロ)」を共同開発。

### ◆事業概要(製品・サービス・技術の内容と特徴)

当社は地盤改良工事を行わない地盤解析専門会社という点で、他の地盤会社と差別化を図り、客観的な視点で地盤解析を行います。また、創業以来、実施した30,000件以上の解析で「改良工事不要」と判定した物件において、過去1度も沈下事故が発生していない事実が、当社の地盤解析技術の高さを証明しています。

この当社独自の解析手法(特許出願中)を武器に、地盤調査の結果を公正な立場で再解析し、過剰な地盤改良工事を防ぐ「地盤セカンドオピニオン®」、調査・解析から地盤の品質証明に至る工程を一貫して提供する「地盤安心住宅®システム」、適切な改良工事が行われているかをチェックする「地盤インスペクター®」など、生活者にとって有益なサービスを展開しています。

## My Entrepreneurship

建築主が家づくりに臨むのは一生に1~2回です。これに対して、住宅会社は月に何棟、何十棟と工事を手掛けます。両者の間には当然、意識や情報の格差が生じ、この情報格差が過剰な地盤改良工事へ繋がりが、生活者が不利益を被ります。私たちの事業はこうした情報格差を埋め、生活者が被る不利益を解消するという役割も担っています。

私は、公正中立な立場に立つ「住生活エージェント」として、生活者が適切な住環境を選択できるような良い社会にしたいという信念を持っています。この信念を貫き、生活者にとってより良い住生活を提供するという「使命感」が、私の『Entrepreneurship』であります。







Ernst & Young  
Entrepreneur Of The Year  
*2012 Japan*

EOY 2012 Japan  
ENTREPRENEUR FACT BOOK

発行：

新日本有限責任監査法人

アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー運営事務局

〒100-0011 千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル

TEL：03-3503-1004

E-mail：info\_eoy@shinnihon.or.jp

URL：http://www.shinnihon.or.jp/eoy/

---

許可なく本誌掲載の記事の複写等を行うことを禁止します。



Ernst & Young ShinNihon LLC

## アーンスト・アンド・ヤングについて

アーンスト・アンド・ヤングは、アシュアランス、税務、トランザクションおよびアドバイザリーサービスの分野における世界的なリーダーです。全世界の16万7千人の構成員は、共通のバリュー（価値観）に基づいて、品質において徹底した責任を果します。私どもは、クライアント、構成員、そして社会の可能性の実現に向けて、プラスの変化をもたらすよう支援します。

「アーンスト・アンド・ヤング」とは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのメンバーファームで構成されるグローバル・ネットワークを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。詳しくは、[www.ey.com](http://www.ey.com) にて紹介しています。

## 新日本有限責任監査法人について

新日本有限責任監査法人は、アーンスト・アンド・ヤングのメンバーファームです。全国に拠点を持ち、日本最大級の人員を擁する監査法人業界のリーダーです。品質を最優先に、監査および保証業務をはじめ、各種財務関連アドバイザリーサービスなどを提供しています。アーンスト・アンド・ヤングのグローバル・ネットワークを通じて、日本を取り巻く世界経済、社会における資本市場への信頼を確保し、その機能を向上するため、可能性の実現を追求します。詳しくは、[www.shinnihon.or.jp](http://www.shinnihon.or.jp)にて紹介しています。

© 2012 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved.

本書又は本書に含まれる資料は、一定の編集を経た要約形式の情報を掲載するものです。したがって、本書又は本書に含まれる資料のご利用は一般的な参考目的の利用に限られるものとし、特定の目的を前提とした利用、詳細な調査への代用、専門的な判断の材料としてのご利用等はしないでください。本書又は本書に含まれる資料について、新日本有限責任監査法人を含むアーンスト・アンド・ヤングの他のいかなるグローバル・ネットワークのメンバーも、その内容の正確性、完全性、目的適合性その他いかなる点についてもこれを保証するものではなく、本書又は本書に含まれる資料に基づいた行動又は行動をしないことにより発生したいかなる損害についても一切の責任を負いません。